

（仮称）「魚津市子どもの権利条例」策定に関する市民意識調査報告書

（平成16年12月）

調査の概要

1 調査の目的

（仮称）「魚津市子どもの権利条例」策定（平成17年度予定）に向け市民意識の現状把握と意識高揚に向け調査を実施

2 調査の設計

- | | |
|-----------|-----------------------------|
| （1）調査対象区域 | 魚津市全域 |
| （2）調査対象者 | 魚津市に居住する20歳以上70歳までの男女 |
| （3）標本数 | 1,000人 |
| （4）抽出方法 | 住民基本台帳からの無作為抽出 |
| （5）調査時期 | 平成16年6月7日～6月25日 |
| （6）調査方法 | 配布回収方式
民生委員・児童委員の協力により実施 |

3 回収の結果

- | | |
|------------|--------|
| （1）標本数 | 1,000人 |
| （2）未配布・未回収 | 49人 |
| （3）全て未記入 | 23人 |
| （4）回収数 | 928人 |
| （5）回収率 | 92.8% |

4 調査回答者の状況

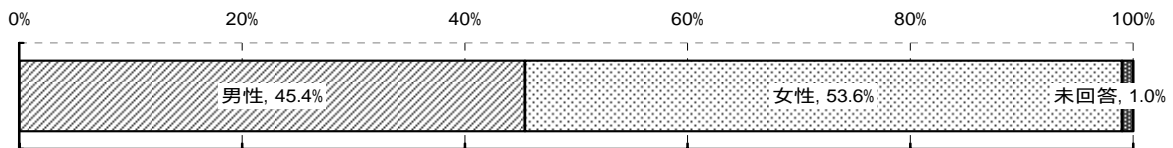
P2

調査結果

- | | |
|-------------------------------|-----|
| 1. 親子や家族のコミュニケーション（問1） | P4 |
| 2. 子育ての楽しさ（問2） | P5 |
| 3. 子育てについての悩みごとや困りごと（問3） | P6 |
| 4. 子育ての悩みに対する市に望む対応（問4） | P9 |
| 5. 子どもに対して心がけている対応（問5） | P10 |
| 6. 子どもに対するしつけなど家庭教育（問6） | P12 |
| 7. 子どもの主張に対する対応（問7） | P13 |
| 8. 子どもへの体罰（問8） | P15 |
| 9. 差別について（問9） | P18 |
| 10. 子どもが地域で遊ぶことが少なくなった理由（問10） | P18 |
| 11. 地域における子どもの問題の取り組み（問11・12） | P19 |
| 12. 子どもを学校へ通わせることの不安（問13） | P22 |
| 13. 「子どもの権利」に対するイメージ（問14） | P23 |
| 14. 「子どもの権利条約」の認知度（問15） | P26 |
| 15. 子どもの権利の侵害（問16・17） | P26 |
| 16. 「子どもの権利条約」の重要な点（問18） | P28 |

4 調査回答者の状況

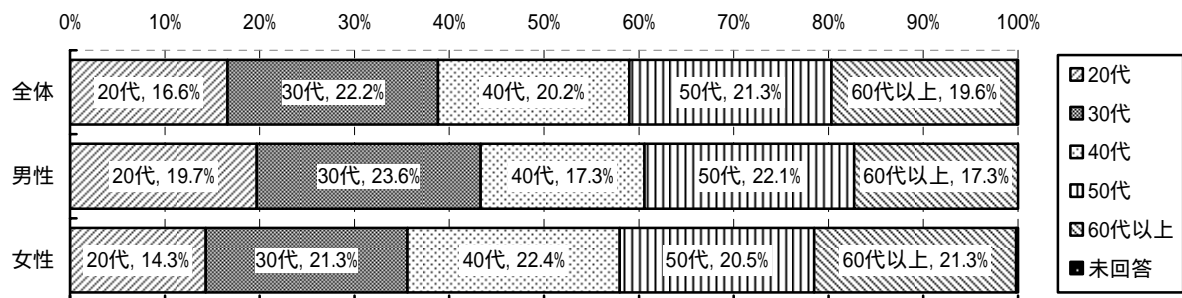
A 回答者の性別



データ値

計 928 男性 421 女性 498 未回答 9

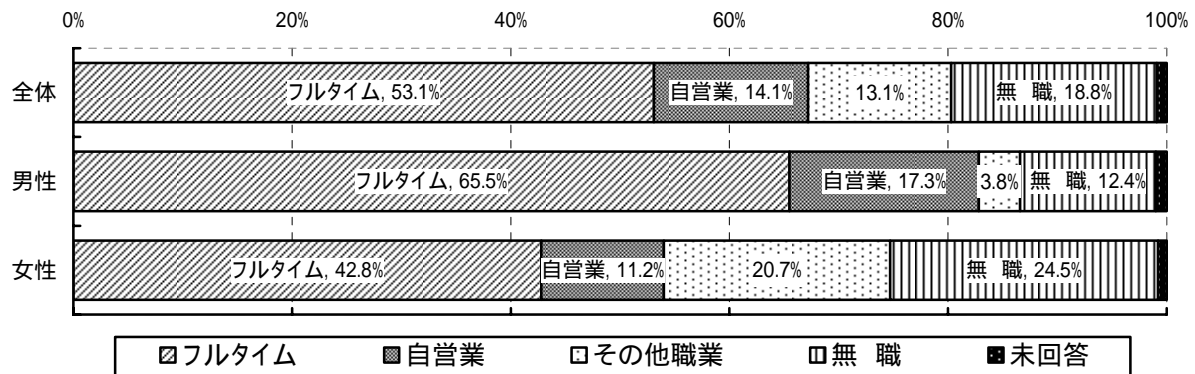
B 回答者の年齢構成



データ値

全体	20代	154	30代	206	40代	187	50代	198	60代	182	未回答	1
男性	20代	83	30代	99	40代	73	50代	93	60代	73	未回答	0
女性	20代	71	30代	106	40代	112	50代	102	60代	106	未回答	1

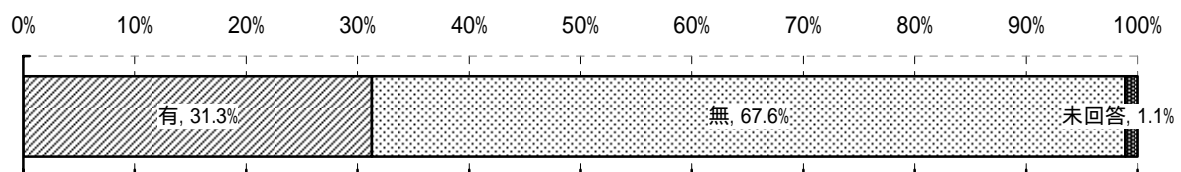
C 回答者の職業



データ値

全体	フルタイム	493	自営	131	その他	122	無職	174	未回答	8
男性	フルタイム	276	自営	73	その他	16	無職	52	未回答	4
女性	フルタイム	213	自営	56	その他	103	無職	122	未回答	4

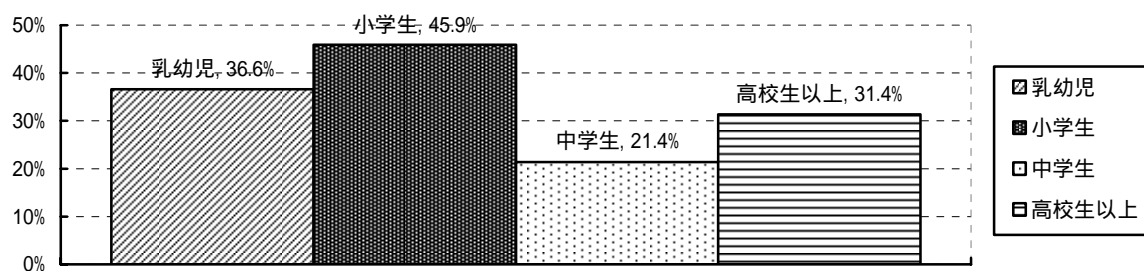
D 18歳未満の子どもの有無



データ値

計 928 有 290 無 628 未回答 10

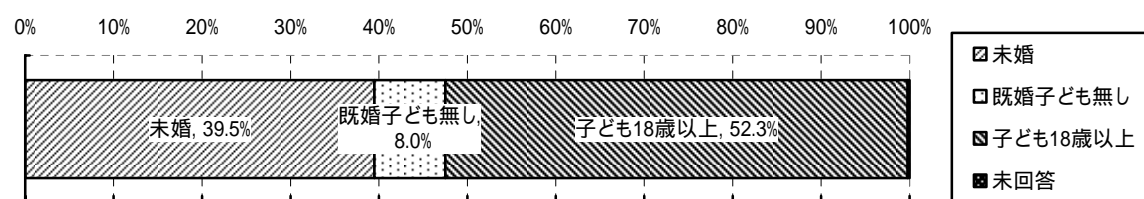
E 子どもの年齢（18歳未満の子どものいる回答者） 複数回答有り[世帯 290 からみた割合]



データ値

計 392 乳幼児 106 小学生 133 中学生 62 高校生以上 91

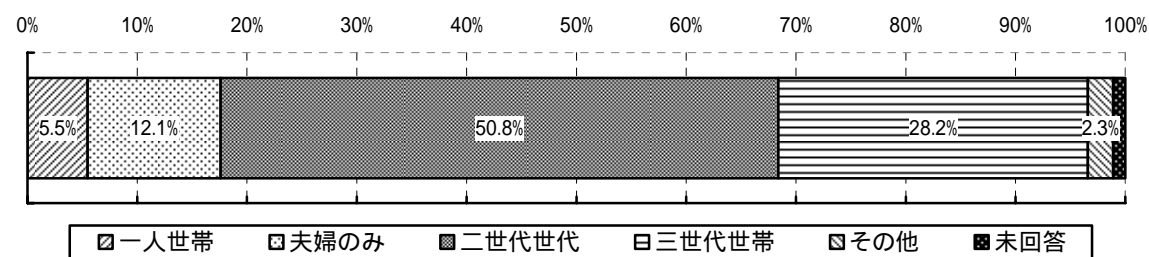
F 18歳未満の子どものいない回答者の内訳



データ値

計 628 未婚 248 既婚子ども無し 50 子ども18歳以上 329 未回答 1

G 回答者の家族構成



データ値

計 928 一人世帯 51 夫婦のみ 112 二世世代世帯 472 三世世代世帯 262 その他 21 未回答 10

H 回答者の居住地区 計 928

大町	村木	下中島	上中島	松倉	上野方	本江
111 12.0%	85 9.2%	61 6.6%	41 4.4%	29 3.1%	49 5.3%	129 13.8%
片貝	加積	天神	道下	経田	西布施	未回答
27 2.9%	102 11.0%	47 5.1%	94 10.1%	116 12.5%	35 3.8%	2 0.2%

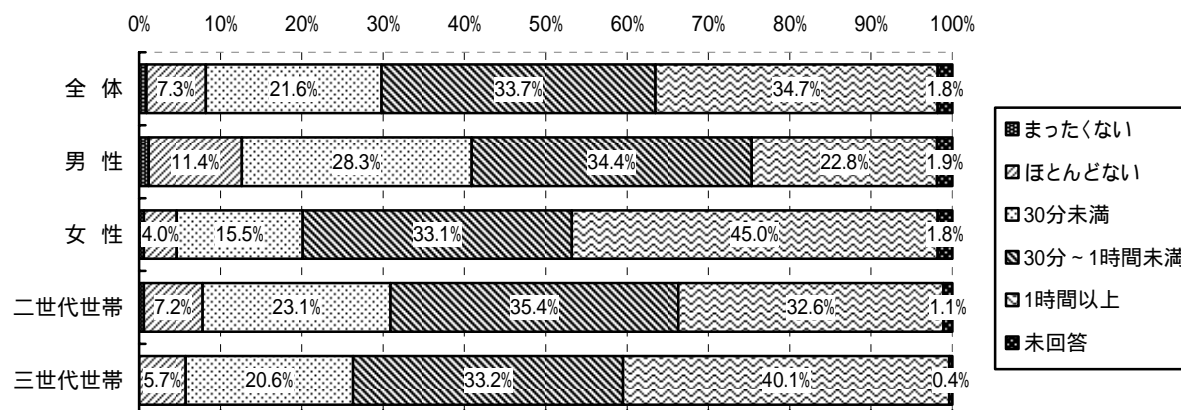
調査結果

問1. 親子や家族のコミュニケーションについてお聞きします。

あなたは一日の中で、親子や家族で会話することはどの程度ありますか(ありましたか)。

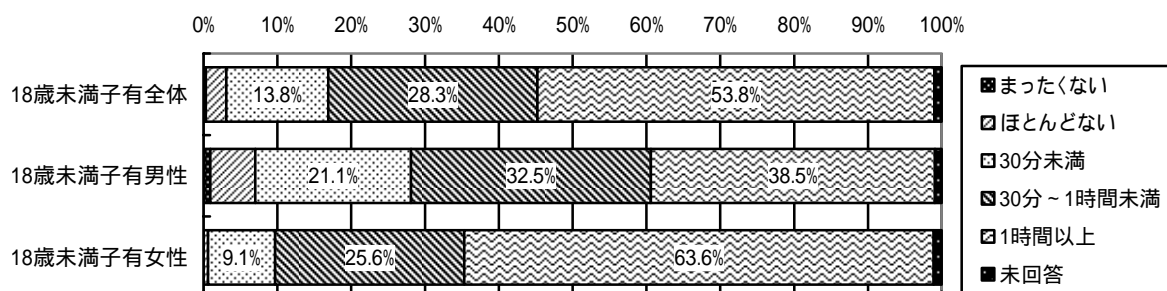
親子や家族の会話時間は、全体で見ると「1時間以上」が35%と最も多く、次に「30分～1時間未満」も34%と同程度となっている。また、男女別に見てみると女性の方が男性に比べ会話時間が長くなっている。

家族構成別に見ると三世代が二世代よりも会話時間が長くなっている。また、18歳未満の子どもの有無別では、18歳未満の子どもいる回答者は会話時間が長く、特に女性でその割合が顕著になっている。



データ値

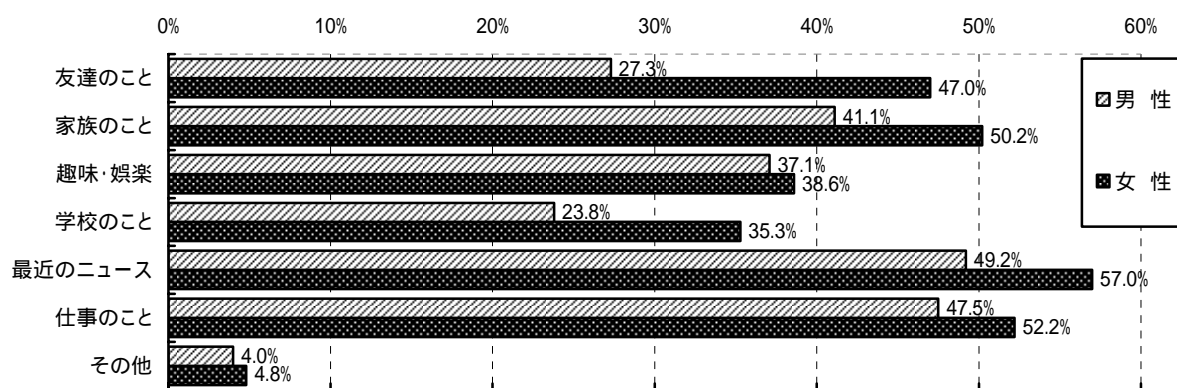
	まったくない	ほとんどない	30分未満	30分～1時間	1時間以上	未回答	計
全 体	8(0.9%)	68(7.3%)	200(21.6%)	313(33.7%)	322(34.7%)	17(1.8%)	928
男 性	5(1.2%)	48(11.4%)	119(28.3%)	145(34.4%)	96(22.8%)	8(1.9%)	421
女 性	3(0.6%)	20(4.0%)	77(15.5%)	165(33.1%)	224(45.0%)	9(1.8%)	498
二世代世帯	3(0.6%)	34(7.2%)	109(23.1%)	167(35.4%)	154(32.6%)	5(1.1%)	472
三世代世帯	0(0.0%)	15(5.7%)	54(20.6%)	87(33.2%)	105(40.1%)	1(0.4%)	262
18歳未満子有全体	1(0.3%)	8(2.8%)	40(13.8%)	82(28.3%)	156(53.8%)	3(1.0%)	290
18歳未満子有男性	1(0.9%)	7(6.1%)	24(21.1%)	37(32.5%)	44(38.5%)	1(0.9%)	114
18歳未満子有女性	0(0.0%)	1(0.6%)	16(9.1%)	45(25.6%)	112(63.6%)	2(1.1%)	176



主にどのような会話をしますか。あてはまるものすべてを選んでください。

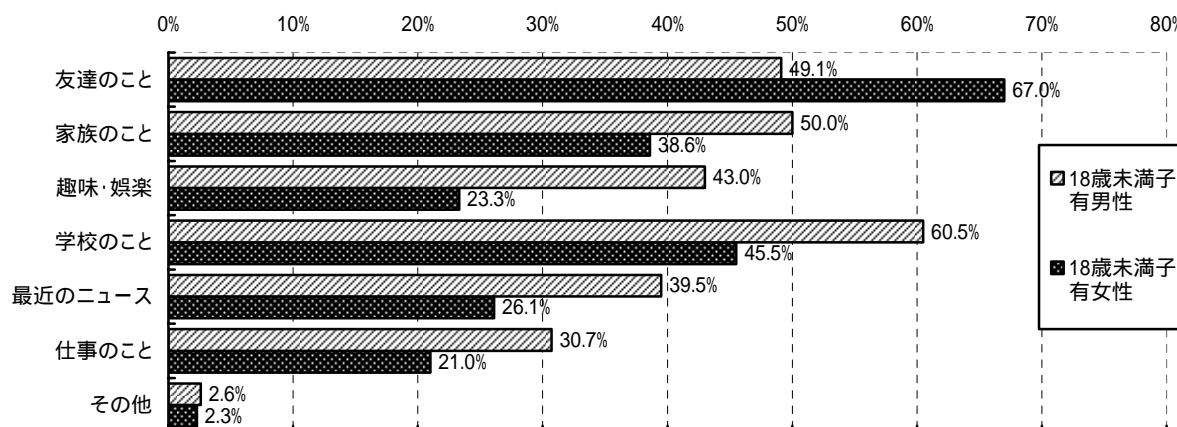
会話の内容は全体を見ると「最近のニュース」「仕事のこと」「家族のこと」が多くなっている。男女別に見てみるとすべての項目で女性が男性より高く、特に「友達のこと」の割合が高くなっている。

18歳未満の子どもがいる回答者に限ってみると「友達のこと」「学校のこと」など子どもについての話題が多い。特に女性は「友達のこと」が67%で学校全般についてよりも特に「友達」に限った話題が多くなっている。



データ値

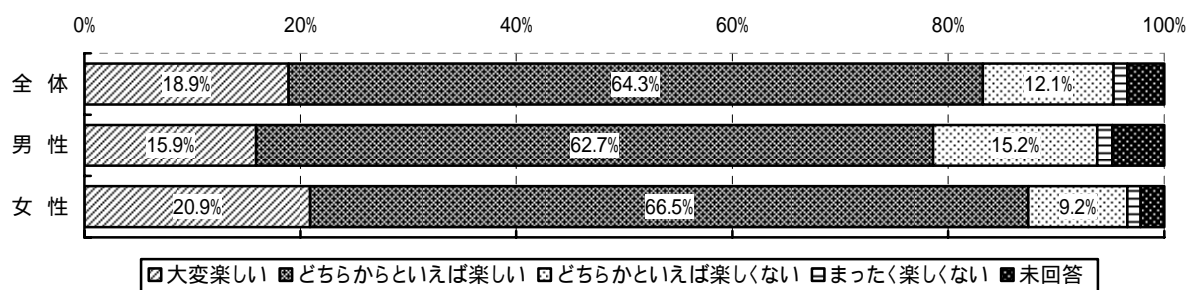
	友達のこと	家族のこと	趣味・娯楽のこと	学校のこと	最近のニュース	仕事のこと	その他
男 性	115(27.3%)	173(41.1%)	156(37.1%)	100(23.8%)	207(49.2%)	200(47.5%)	17(4.0%)
女 性	234(47.0%)	250(50.2%)	192(38.6%)	176(35.3%)	284(57.0%)	260(52.2%)	24(4.8%)
18歳未満子有男性	56(49.1%)	57(50.0%)	49(43.0%)	69(60.5%)	45(39.5%)	35(30.7%)	3(2.6%)
18歳未満子有女性	118(67.0%)	68(38.6%)	41(23.3%)	80(45.5%)	46(26.1%)	37(21.0%)	4(2.3%)



問2．子育ては楽しいですか（楽しかったですか）。子どもをもたない方も想像してお答えください。

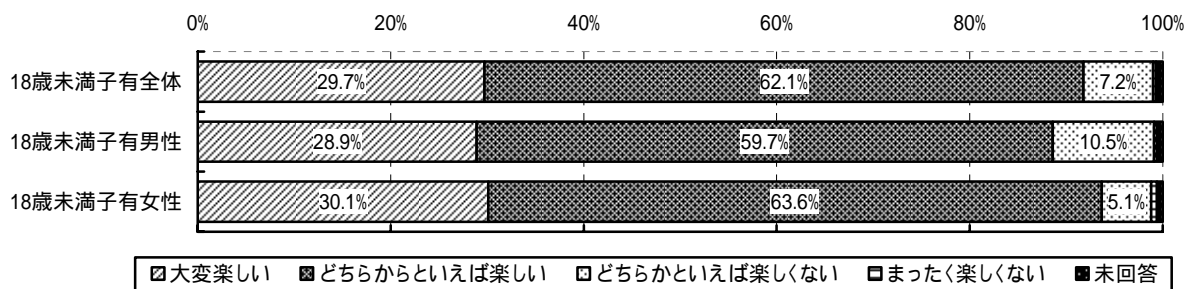
子育ての楽しさについては「まったく楽しくない」「どちらかといえば楽しくない」を合わせて13%で、大半の人が子育ては楽しいと感じている。ただし、男性は女性に比べ「大変楽しい」「どちらかといえば楽しい」の割合は低くなっている。

18歳未満の子どもがいる回答者に限ってみると「大変楽しい」の割合が多くなっており、「どちらかといえば楽しくない」の割合が少なくなっている。また「まったく楽しくない」の回答者の理由としては「仕事をしながらの保育園の送迎がきつかった」をあげている。



データ値

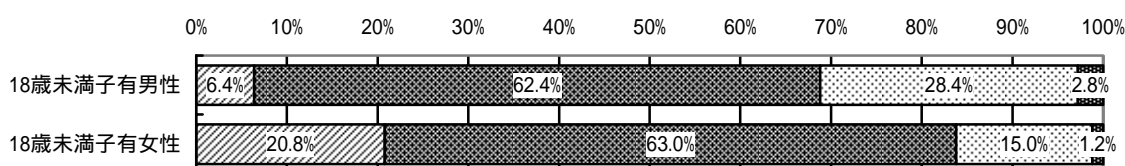
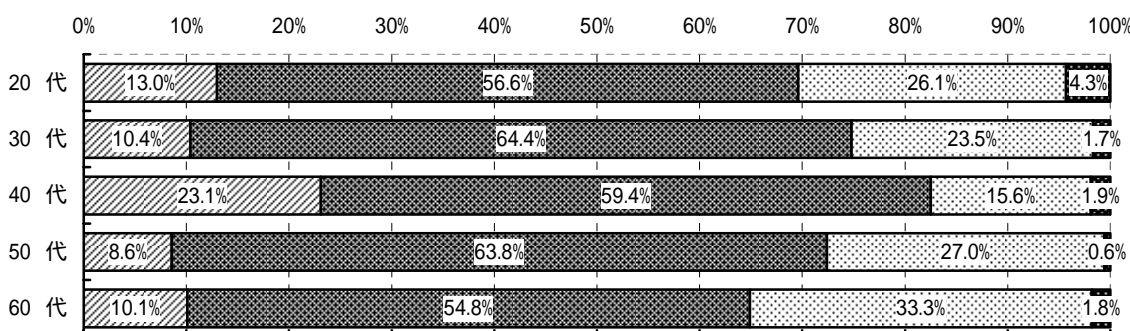
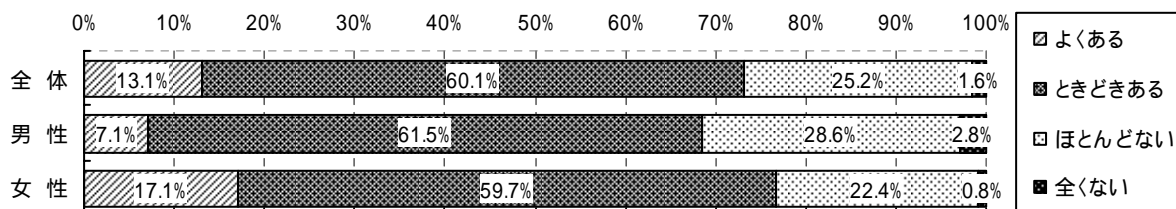
	大変楽しい	どちらかといえば楽しい	どちらかといえば楽しくない	まったく楽しくない	未回答
全 体	175(18.9%)	597(64.3%)	112(12.1%)	12(1.3%)	32(3.4%)
男 性	67(15.9%)	264(62.7%)	64(15.2%)	6(1.4%)	20(4.8%)
女 性	104(20.9%)	331(66.5%)	46(9.2%)	6(1.2%)	11(2.2%)
18歳未満子有全体	86(29.7%)	180(62.1%)	21(7.2%)	1(0.3%)	2(0.7%)
18歳未満子有男性	33(28.9%)	68(59.7%)	12(10.5%)	0(0.0%)	1(0.9%)
18歳未満子有女性	53(30.1%)	112(63.6%)	9(5.1%)	1(0.6%)	1(0.6%)



問3. 子育てについての悩みごとや困りごとについてお聞きします。

あなたは、子どもの健康や病気以外で、子育てについて悩んだり、困ったりしたことがありますか(ありましたか)(子どもをもたない方は「5.」と回答ください。)

「よくある」「ときどきある」を合わせて73%の回答者が、子育てについて悩んだり、困ったりしたことがあるとしている。男女別で見ると女性は「よくある」と回答した人が10ポイント高くなっている。年代別に見ると「よくある」「ときどきある」と回答した人が40代で高くなっている。また、18歳未満の子どものいる回答者の女性で「よくある」「ときどきある」と回答した割合が高くなっている。



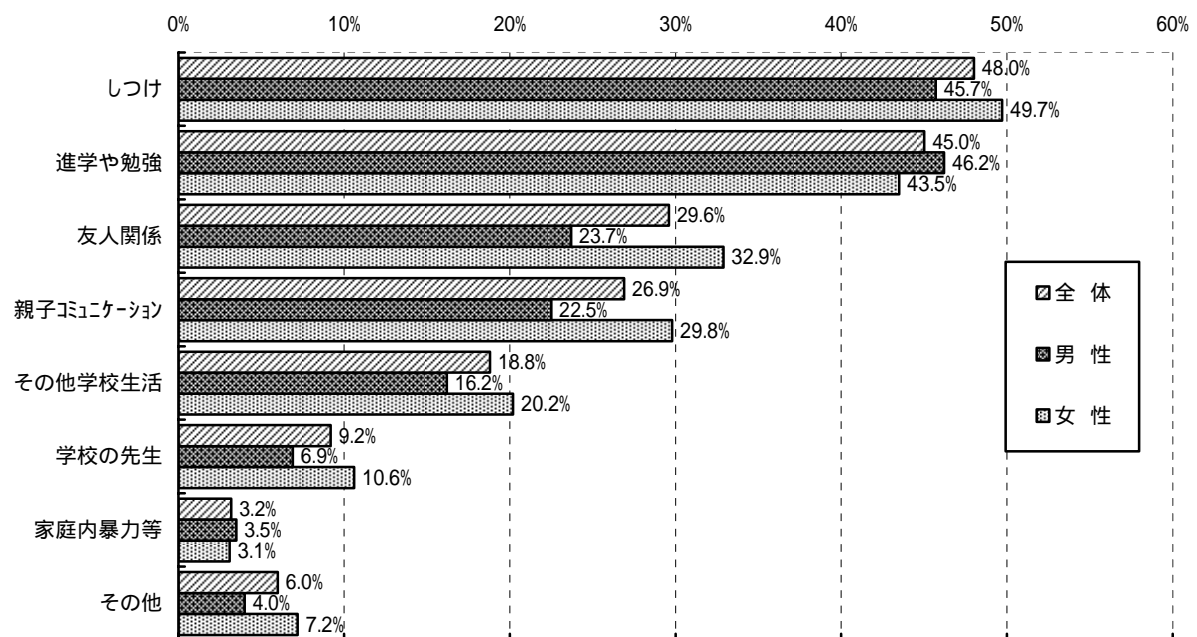
データ値（「わからない」「その他」「未回答」を除いた計からみた割合）

	よくある(よくあった)	ときどきある(ときどきあった)	ほとんどない(ほとんどなかった)	全くない(全くなかった)	わからない	その他	未回答
全 体	84(13.1%)	385(60.1%)	161(25.2%)	10(1.6%)	259	3	26
男 性	18(7.1%)	155(61.5%)	72(28.6%)	7(2.8%)	152	1	16
女 性	65(17.1%)	227(59.7%)	85(22.4%)	3(0.8%)	107	2	9
20 代	3(13.0%)	13(56.6%)	6(26.1%)	1(4.3%)	125	0	6
30 代	12(10.4%)	74(64.4%)	27(23.5%)	2(1.7%)	87	0	4
40 代	37(23.1%)	95(59.4%)	25(15.6%)	3(1.9%)	21	0	6
50 代	15(8.6%)	111(63.8%)	47(27.0%)	1(0.6%)	17	2	5
60 代	17(10.1%)	92(54.8%)	56(33.3%)	3(1.8%)	8	1	5
18歳未満子有男性	7(6.4%)	68(62.4%)	31(28.4%)	3(2.8%)	4	0	1
18歳未満子有女性	36(20.8%)	109(63.0%)	26(15.0%)	2(1.2%)	2	0	1

で「1.」または「2.」と回答した方のみお答えください。その悩みごとはどのようなことでしたか。あてはまるものすべてを選んでください。

子育てについての悩みごとでは「しつけ」が48%と最も高く、ついで「進学や勉強」も同程度の45%となっている。さらに「友人関係」(30%)、「親子コミュニケーション」(27%)と続いている。

男女別を見ると、男性は「進学や勉強」が最も高く、女性は「しつけ」が最も高くなっている。また女性は男性に比べて「友人関係」で9ポイント、「親子コミュニケーション」で7ポイント高くなっている。



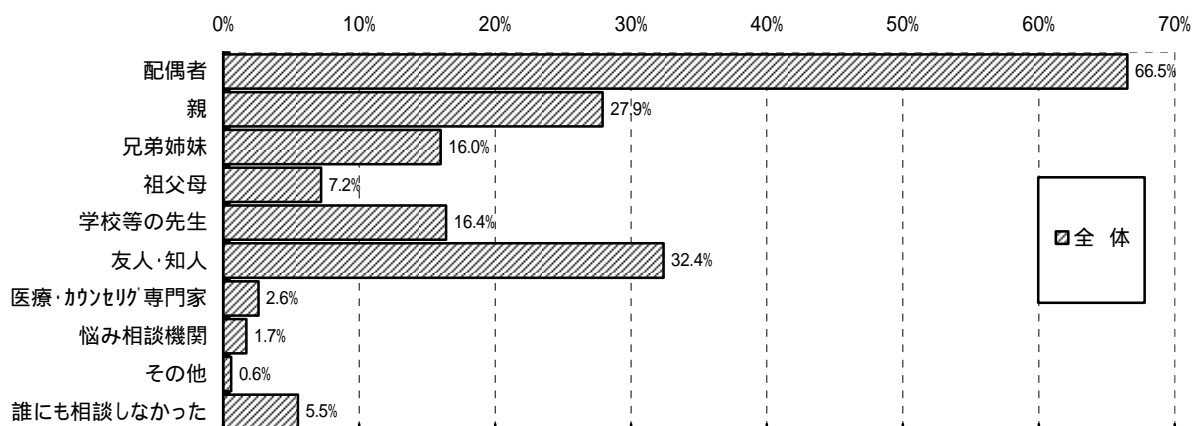
データ値（グラフは「よくある」「ときどきある」と回答した人からみた割合）

	しつけに関する こと	進学や勉強に 関すること	友人関係に 関すること	親子のコミュニケーション など親子関係	その他学校生活に 関すること	学校の先生に 関すること	家庭内暴力や深刻な 反抗などに関する こと	その他
全 体	225(48.0%)	211(45.0%)	139(29.6%)	126(26.9%)	88(18.8%)	43(9.2%)	15(3.2%)	28(6.0%)
男 性	79(45.7%)	80(46.2%)	41(23.7%)	39(22.5%)	28(16.2%)	12(6.9%)	6(3.5%)	7(4.0%)
女 性	145(49.7%)	127(43.5%)	96(32.9%)	87(29.8%)	59(20.2%)	31(10.6%)	9(3.1%)	21(7.2%)

で「1 .」または「2 .」と回答した方のみお答えください。あなたは、その悩みを誰に相談しましたか。あてはまるものすべてを選んでください。

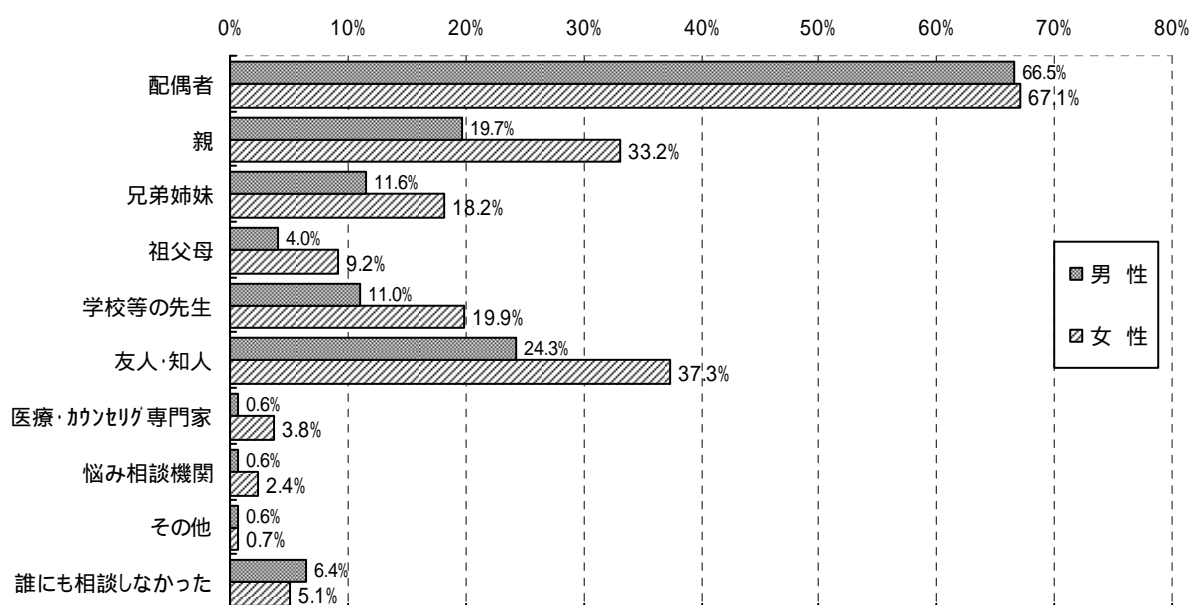
子育ての悩みごとの相談相手は「配偶者」が67%と最も多く、次いで「友人・知人」(32%)、「親」(28%)、「学校等の先生」(16%)、「兄弟姉妹」(16%)となっている。

男女別で見ると「配偶者」の割合にほとんど差はないが、女性の方が男性に比べて「友人・知人」「親」等全体的に多くの相談相手を求めている。



データ値（グラフは「よくある」「ときどきある」と回答した人からみた割合）

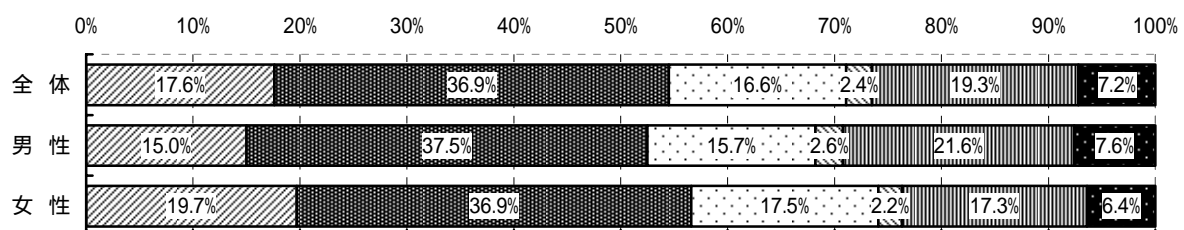
	配偶者	親	兄弟姉妹	祖父母	幼稚園・保育園・学校等の先生	友人・知人	医療機関・カウンセリングの専門家	悩み相談機関	その他	誰にも相談しなかった
全体	312 (66.5%)	131 (27.9%)	75 (16.0%)	34 (7.2%)	77 (16.4%)	152 (32.4%)	12 (2.6%)	8 (1.7%)	3 (0.6%)	26 (5.5%)
男性	115 (66.5%)	34 (19.7%)	20 (11.6%)	7 (4.0%)	19 (11.0%)	42 (24.3%)	1 (0.6%)	1 (0.6%)	1 (0.6%)	11 (6.4%)
女性	196 (67.1%)	97 (33.2%)	53 (18.2%)	27 (9.2%)	58 (19.9%)	109 (37.3%)	11 (3.8%)	7 (2.4%)	2 (0.7%)	15 (5.1%)



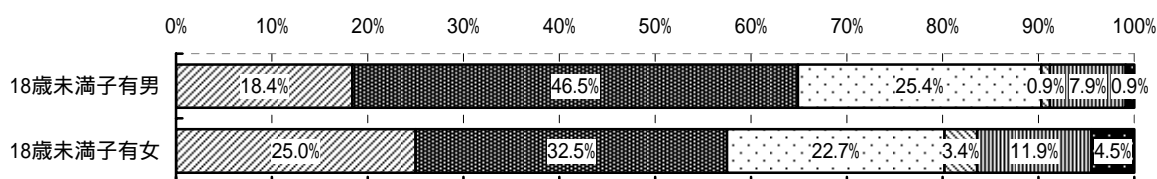
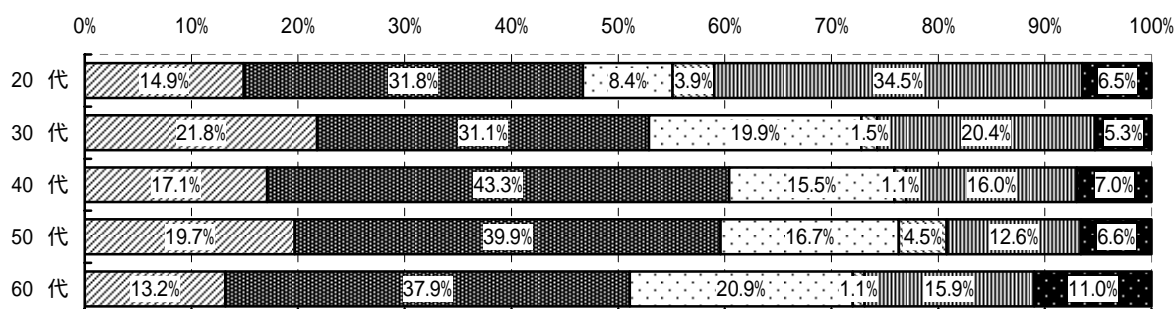
問４．子育ての悩みに対して、あなたが魚津市に最も強く望む対応を１つ選んでください。

55%の人が子育ての悩みに対して何らかの要望を持っている。特に37%の人が市独自の支援の施策を望んでいる。年代別で見ると「市独自の施策」を求める率は40代が43%と最も高く、「現在の施設での充実」は30代が22%と最も高い。

18歳未満の子どものいる回答者を見ると男性は「市独自の施策」(47%)を求める率が高く、女性は「現在の施設での充実」(25%)を求める率が他データに比べて高くなっている。



- ▨ 現在の保育園や学校等の施設の相談体制を充実してほしい
- 市独自で、相談しやすい体制や子育て支援の施策を一層進めてほしい
- 特に不自由はないので、現状のままでよい
- ▨ その他
- ▨ わからない
- 未回答

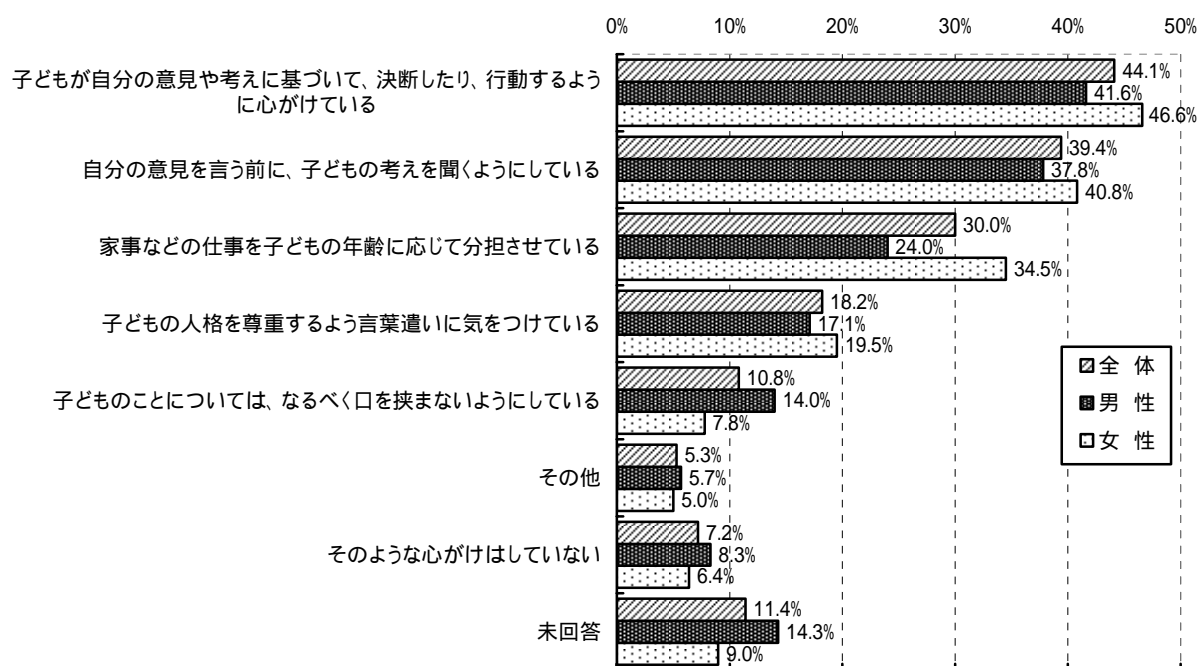


データ値

	現在の保育園や学校等の施設の相談体制の充実してほしい	市独自で、相談しやすい体制や子育て支援の施策を一層進めてほしい	特に不自由はないので、現状のままでよい	その他	わからない	未回答
全 体	163(17.6%)	343(36.9%)	154(16.6%)	22(2.4%)	179(19.3%)	67(7.2%)
男 性	63(15.0%)	158(37.5%)	66(15.7%)	11(2.6%)	91(21.6%)	32(7.6%)
女 性	98(19.7%)	184(36.9%)	87(17.5%)	11(2.2%)	86(17.3%)	32(6.4%)
20 代	23(14.9%)	49(31.8%)	13(8.4%)	6(3.9%)	53(34.5%)	10(6.5%)
30 代	45(21.8%)	64(31.1%)	41(19.9%)	3(1.5%)	42(20.4%)	11(5.3%)
40 代	32(17.1%)	81(43.3%)	29(15.5%)	2(1.1%)	30(16.0%)	13(7.0%)
50 代	39(19.7%)	79(39.9%)	33(16.7%)	9(4.5%)	25(12.6%)	13(6.6%)
60 代	24(13.2%)	69(37.9%)	38(20.9%)	2(1.1%)	29(15.9%)	20(11.0%)
18歳未満子有男性	21(18.4%)	53(46.5%)	29(25.4%)	1(0.9%)	9(7.9%)	1(0.9%)
18歳未満子有女性	44(25.0%)	57(32.5%)	40(22.7%)	6(3.4%)	21(11.9%)	8(4.5%)

問5 .あなたが子どもに対して心がけている対応で、あてはまるものすべてを選んでください。

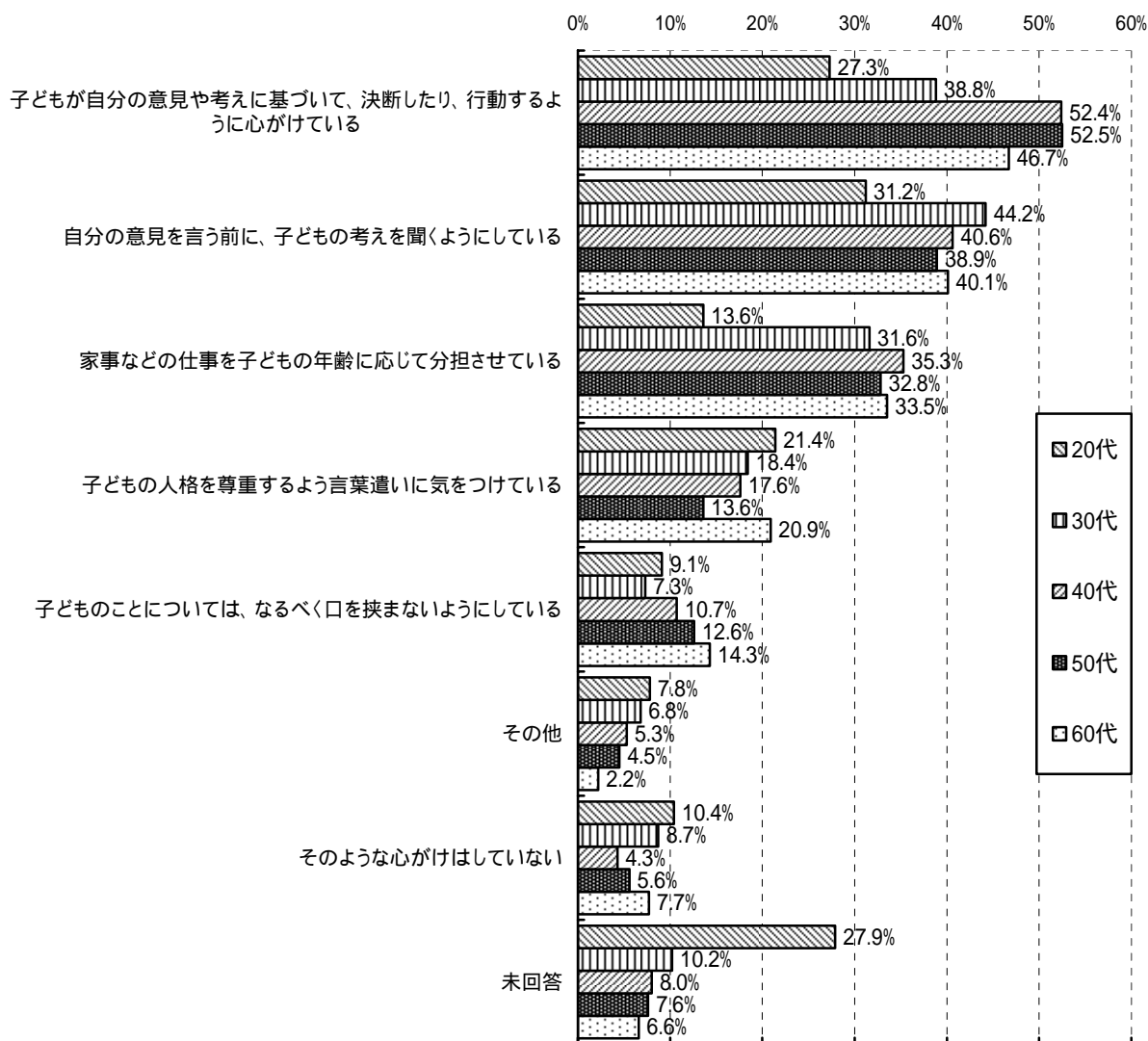
「子どもが自分の意見や考えに基づいて、決断したり、行動するように心がけている」が44%と最も高い。ついで、「自分の意見を言う前に、子どもの考えを聞くようにしている」(39%)、「家事などの仕事を子どもの年齢に応じて分担させている」(30%)が続いている。「家事を分担させている」は女性が男性に比べて10ポイント以上高くなっている。



データ値

	子どもが自分の意見や考えに基づいて、決断したり、行動するように心がけている(いた)	自分の意見を言う前に、子どもの考えを聞くようにしている(いた)	家事などの仕事を子どもの年齢に応じて分担させている(いた)	子どもの人格を尊重するよう言葉遣いに気をつけている(いた)	子どものことについては、なるべく口を挟まないようにしている(いた)	その他	そのような心かげはしていない(いなかった)	未回答
全体	409 (44.1%)	366 (39.4%)	278 (30.0%)	169 (18.2%)	100 (10.8%)	49 (5.3%)	67 (7.2%)	106 (11.4%)
男性	175 (41.6%)	159 (37.8%)	101 (24.0%)	72 (17.1%)	59 (14.0%)	24 (5.7%)	35 (8.3%)	60 (14.3%)
女性	232 (46.6%)	203 (40.8%)	172 (34.5%)	97 (19.5%)	39 (7.8%)	25 (5.0%)	32 (6.4%)	45 (9.0%)
20代	42 (27.3%)	48 (31.2%)	21 (13.6%)	33 (21.4%)	14 (9.1%)	12 (7.8%)	16 (10.4%)	43 (27.9%)
30代	80 (38.8%)	91 (44.2%)	65 (31.6%)	38 (18.4%)	15 (7.3%)	14 (6.8%)	18 (8.7%)	21 (10.2%)
40代	98 (52.4%)	76 (40.6%)	66 (35.3%)	33 (17.6%)	20 (10.7%)	10 (5.3%)	8 (4.3%)	15 (8.0%)
50代	104 (52.5%)	77 (38.9%)	65 (32.8%)	27 (13.6%)	25 (12.6%)	9 (4.5%)	11 (5.6%)	15 (7.6%)
60代	85 (46.7%)	73 (40.1%)	61 (33.5%)	38 (20.9%)	26 (14.3%)	4 (2.2%)	14 (7.7%)	12 (6.6%)

年代別で見ると「子どもが自分の意見や考えに基づいて、決断したり、行動するように心がけている」が30歳代、40歳代で他の年代に比べて割合が高くなっている。また、「自分の意見を言う前に、子どもの考えを聞くようにしている」は30歳代で他の年代に比べて割合が高くなっている。

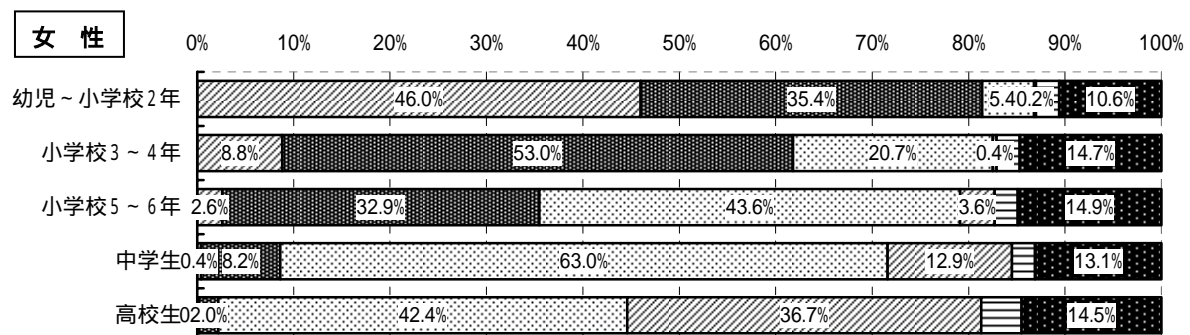
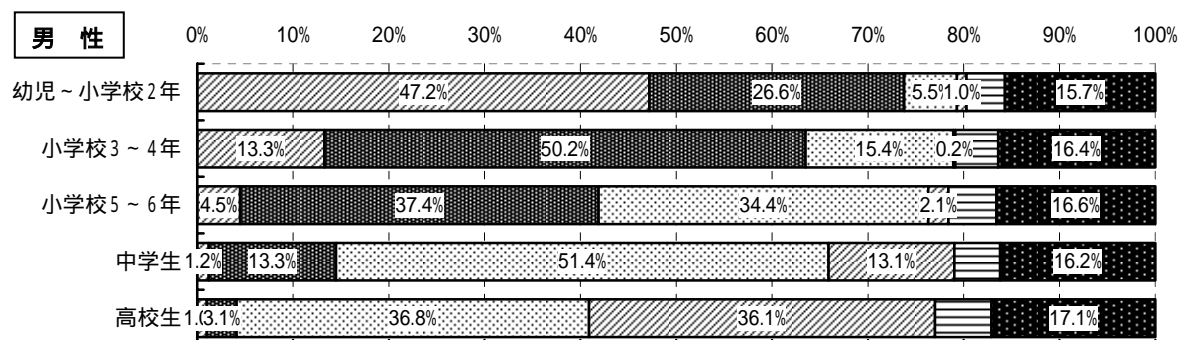
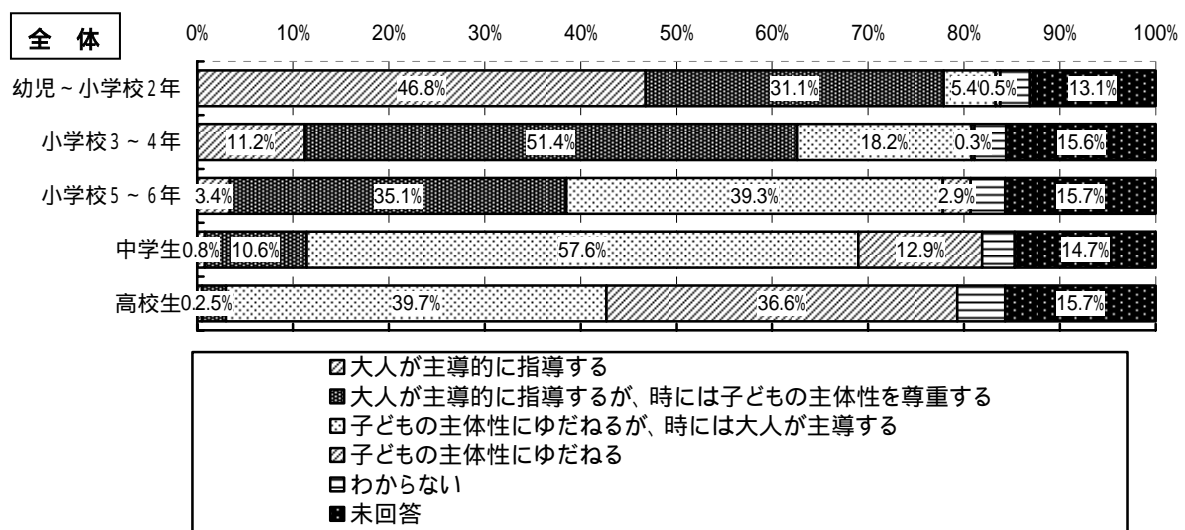


**問6 . あなたは、子どもに対するしつけなど家庭教育について、どうあるべきだと思いますか。
子どもの年齢にあわせて、該当欄に を記入ください。**

「大人が主導的に指導する」は、幼児から小学2年生までに対しては47%であるが、小学3～4年生では11%、小学5～6年生では3%に減り、中学生・高校生では1%に満たない。

「子どもの主体性にゆだねるが、時には大人が主導する」は小学3～4年生では18%、小学5～6年生では39%、中学生では58%に増える。「子どもの主体性にゆだねる」は中学生で13%であるが、高校生になると37%に増えている。

男女別に見ると、女性の方が男性と比較して全体的に「子どもの主体性にゆだねるが、時には大人が主導する」の割合が高くなっている。特に中学生でその割合が高くなっている。



データ値（幼児～小学校2年）

	大人が主導的に指導する	大人が主導的に指導するが、時には子どもの主体性を尊重する	子どもの主体性にゆだねるが、時には大人が主導する	子どもの主体性にゆだねる	わからない	未回答
全 体	433	289	50	5	29	122
男 性	199	112	23	4	17	66
女 性	229	176	27	1	12	53

データ値（小学校3～4年）

全 体	104	476	169	3	31	145
男 性	56	211	65	1	19	69
女 性	44	264	103	2	12	73

データ値（小学校5～6年）

全 体	32	326	364	27	33	146
男 性	19	157	145	9	21	70
女 性	13	164	217	18	12	74

データ値（中学生）

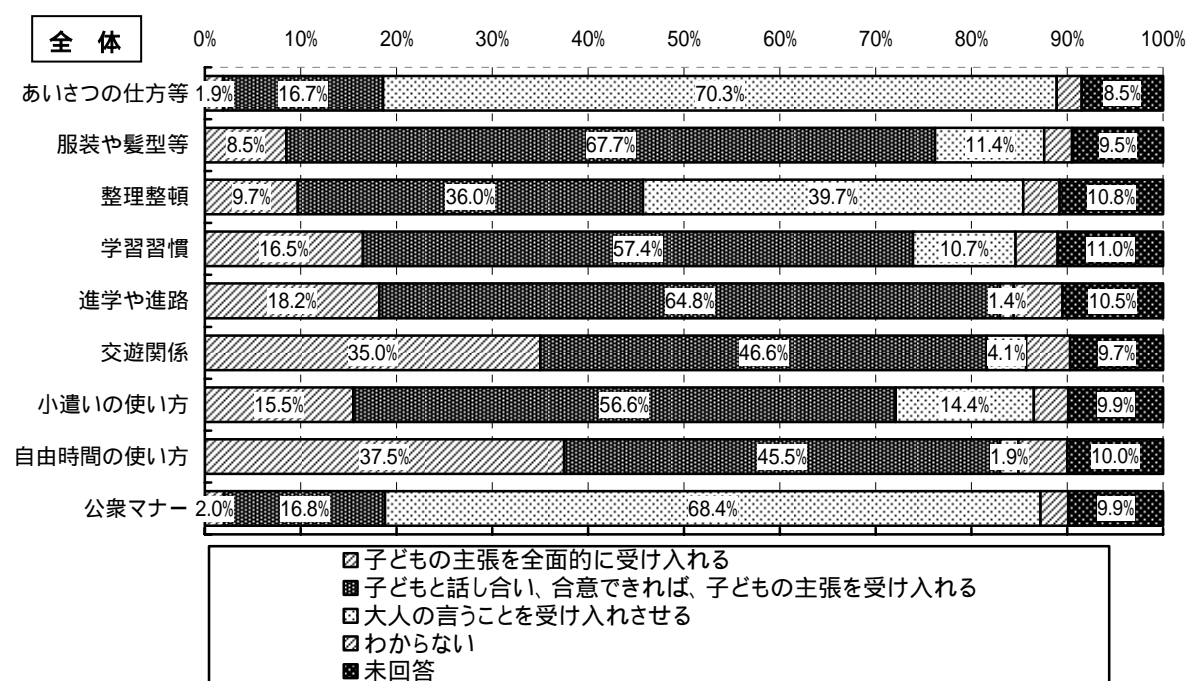
全 体	7	98	535	120	32	136
男 性	5	56	217	55	20	68
女 性	2	41	314	64	12	65

データ値（高校生）

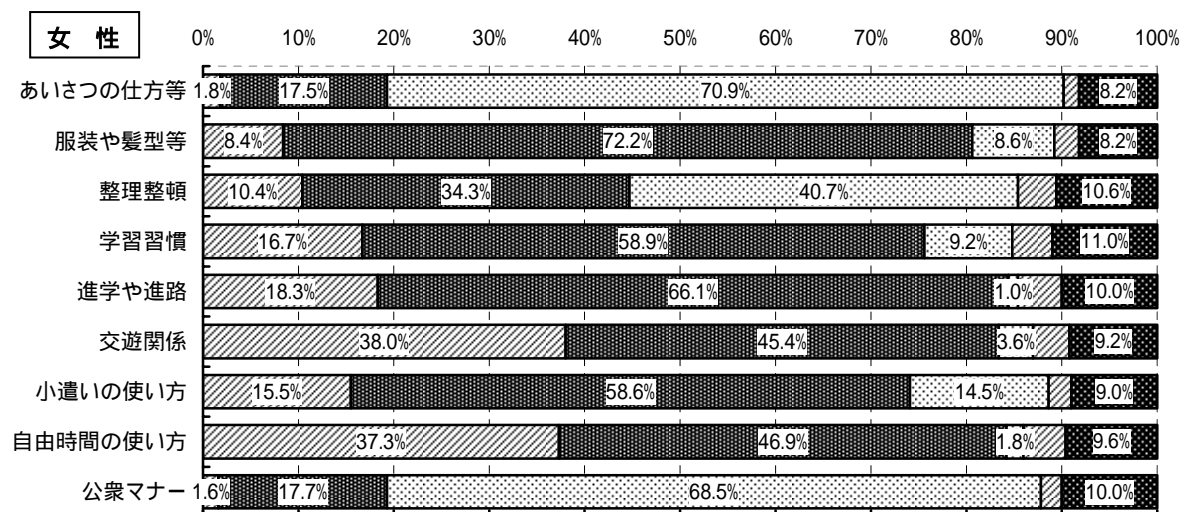
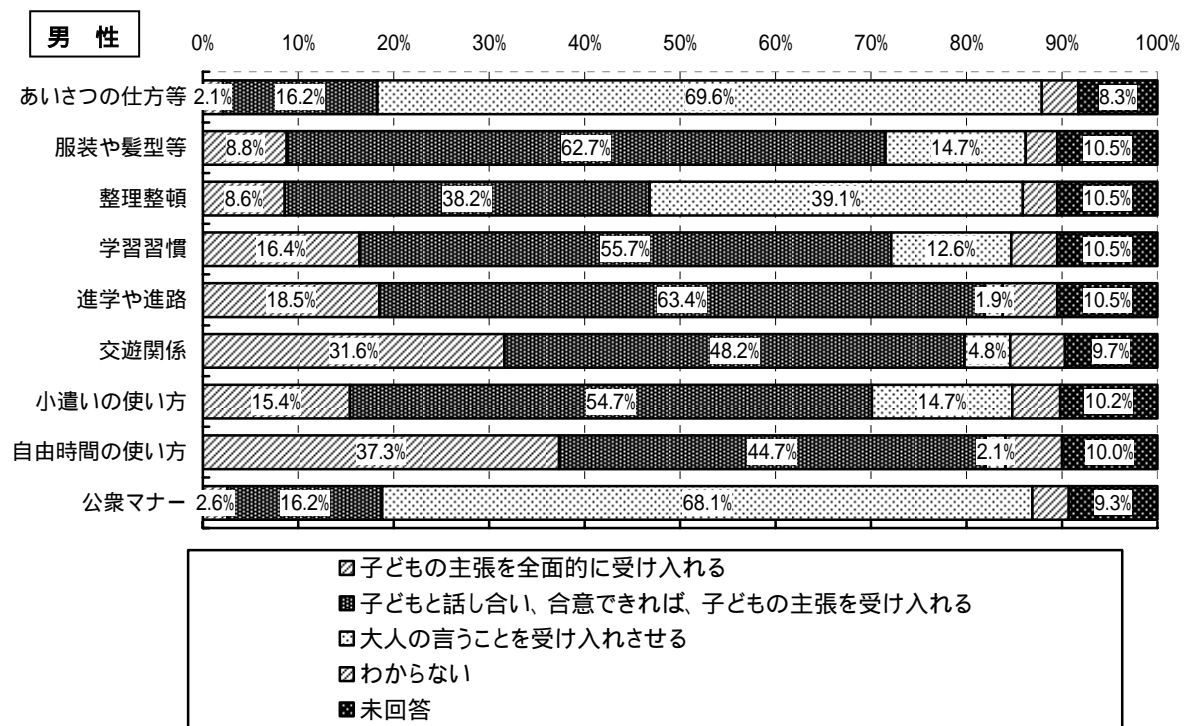
全 体	5	23	368	340	46	146
男 性	4	13	155	152	25	72
女 性	1	10	211	183	21	72

問7. 次のようなことに関する子どもたちの主張に対して、あなたはどのように対応していますか。子どもをもたない方も想定してお答えください。

「大人の言うことを受け入れさせる」で最も高いのは「あいさつの仕方や言葉遣い」の70%で、ついで「公衆マナー」(68%)、「整理整頓」(40%)など『子どもへの基本的なしつけ』となっている。「子どもの主張を全面的に受け入れる」で高いのは「自由時間の使い方」の38%で「交遊関係」(35%)がこれに続く。「服装や髪型等」「学習習慣」「進学進路」は「子どもと話し合い、合意できれば、子どもの主張を受け入れる」という回答が50%を上回っている。



男女別で見ると「子どもの主張を全面的に受け入れる」では「交遊関係」で女性が男性に比べ6ポイント高く、「子どもと話し合い、合意できれば、子どもの主張を受け入れる」では「服装や髪型等」で女性が男性に比べ10ポイント近く高くなっている。



データ値（あいさつの仕方や言葉遣い）

	子どもの主張を全面的に受け入れる	子どもと話し合い、合意できれば、子どもの主張を受け入れる	(しつけとして)大人の言うことを受け入れさせる	わからない	未回答
全 体	18(1.9%)	155(16.7%)	652(70.3%)	24(2.6%)	79(8.5%)
男 性	9(2.1%)	68(16.2%)	293(69.6%)	16(3.8%)	35(8.3%)
女 性	9(1.8%)	87(17.5%)	353(70.9%)	8(1.6%)	41(8.2%)

データ値（服装や髪型等）

	子どもの主張を全面的に受け入れる	子どもと話し合い、合意できれば、子どもの主張を受け入れる	(しつけとして)大人の言うことを受け入れさせる	わからない	未回答
全 体	79(8.5%)	628(67.7%)	106(11.4%)	27(2.9%)	88(9.5%)
男 性	37(8.8%)	264(62.7%)	62(14.7%)	14(3.3%)	44(10.5%)
女 性	42(8.4%)	359(72.2%)	43(8.6%)	13(2.6%)	41(8.2%)

データ値（整理整頓）

	子どもの主張を全面的に受け入れる	子どもと話し合い、合意できれば、子どもの主張を受け入れる	(しつけとして)大人の言うことを受け入れさせる	わからない	未回答
全 体	90(9.7%)	334(36.0%)	369(39.7%)	35(3.8%)	100(10.8%)
男 性	36(8.6%)	161(38.2%)	165(39.1%)	15(3.6%)	44(10.5%)
女 性	52(10.4%)	171(34.3%)	202(40.7%)	20(4.0%)	53(10.6%)

データ値（学習習慣）

全 体	153(16.5%)	533(57.4%)	99(10.7%)	41(4.4%)	102(11.0%)
男 性	69(16.4%)	235(55.7%)	53(12.6%)	20(4.8%)	44(10.5%)
女 性	83(16.7%)	293(58.9%)	46(9.2%)	21(4.2%)	55(11.0%)

データ値（進学や進路）

全 体	169(18.2%)	602(64.8%)	13(1.4%)	47(5.1%)	97(10.5%)
男 性	78(18.5%)	267(63.4%)	8(1.9%)	24(5.7%)	44(10.5%)
女 性	91(18.3%)	329(66.1%)	5(1.0%)	23(4.6%)	50(10.0%)

データ値（交遊関係）

全 体	325(35.0%)	432(46.6%)	38(4.1%)	43(4.6%)	90(9.7%)
男 性	133(31.6%)	203(48.2%)	20(4.8%)	24(5.7%)	41(9.7%)
女 性	189(38.0%)	226(45.4%)	18(3.6%)	19(3.8%)	46(9.2%)

データ値（小遣いの使い方）

全 体	144(15.5%)	525(56.6%)	134(14.4%)	33(3.6%)	92(9.9%)
男 性	65(15.4%)	230(54.7%)	62(14.7%)	21(5.0%)	43(10.2%)
女 性	77(15.5%)	292(58.6%)	72(14.5%)	12(2.4%)	45(9.0%)

データ値（自由時間の使い方）

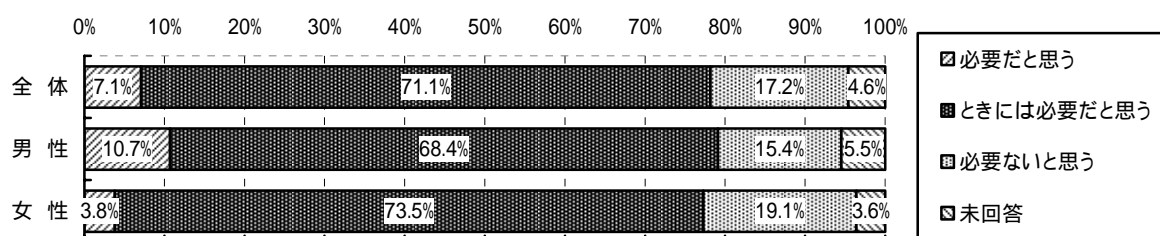
全 体	348(37.5%)	422(45.5%)	18(1.9%)	47(5.1%)	93(10.0%)
男 性	157(37.3%)	188(44.7%)	9(2.1%)	25(5.9%)	42(10.0%)
女 性	186(37.3%)	233(46.9%)	9(1.8%)	22(4.4%)	48(9.6%)

データ値（公衆マナー）

全 体	19(2.0%)	156(16.8%)	634(68.4%)	27(2.9%)	92(9.9%)
男 性	11(2.6%)	68(16.2%)	287(68.1%)	16(3.8%)	39(9.3%)
女 性	8(1.6%)	88(17.7%)	341(68.5%)	11(2.2%)	50(10.0%)

**問 8 . 子どもへの体罰についてお聞きします。
あなたは、しつけにおいて体罰が必要だと思いますか。**

子どもへの体罰を「必要だと思う」「ときには必要だと思う」を合わせると78%となっている。男女別で見ると男性で「必要だと思う」とする人は女性より7ポイント高くなっている。

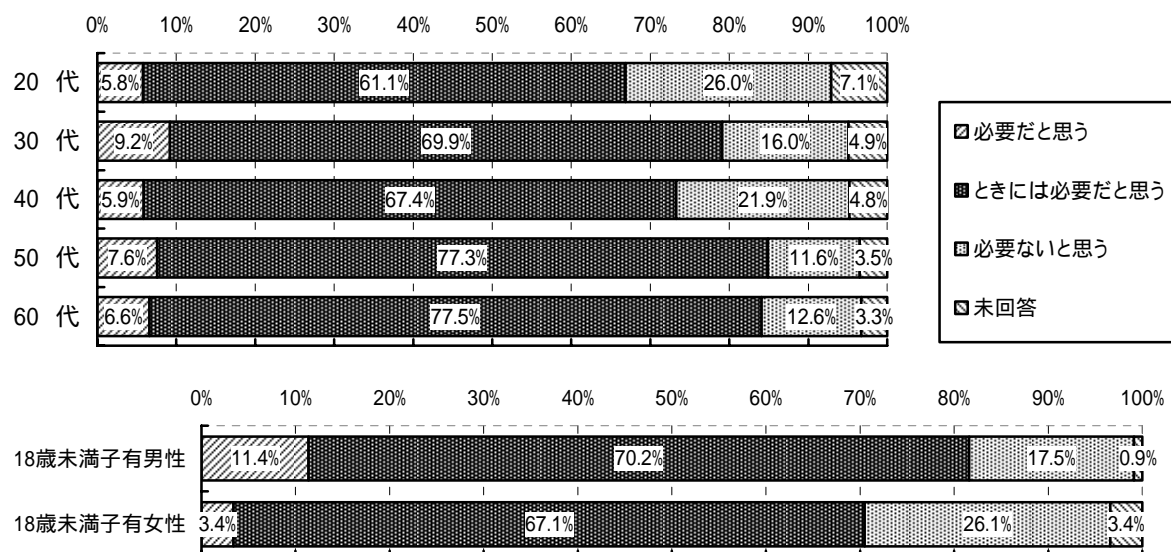


データ値

	必要だと思う	ときには必要だと思う	必要ないと思う	未回答
全 体	66(7.1%)	659(71.1%)	160(17.2%)	43(4.6%)
男 性	45(10.7%)	288(68.4%)	65(15.4%)	23(5.5%)
女 性	19(3.8%)	366(73.5%)	95(19.1%)	18(3.6%)

年代別で見ると「必要だと思う」とする人は30代（9%）で高く、「必要ないと思う」とする人は20代（26%）で高く、50代・60代で低くなっている。

18歳未満の子どものいる回答者では「必要ないと思う」とする人は女性が男性に比べて9ポイント弱多くなっている。逆に「必要だと思う」とする人は男性が8ポイント高い。



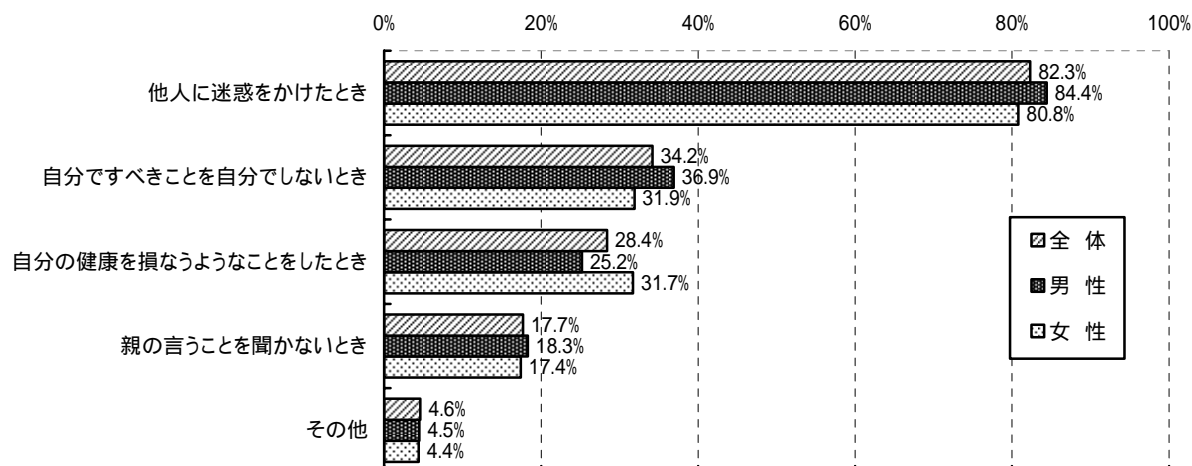
データ値

	必要だと思う	ときには必要だと思う	必要ないと思う	未回答
20代	9(5.8%)	94(61.1%)	40(26.0%)	11(7.1%)
30代	19(9.2%)	144(69.9%)	33(16.0%)	10(4.9%)
40代	11(5.9%)	126(67.4%)	41(21.9%)	9(4.8%)
50代	15(7.6%)	153(77.3%)	23(11.6%)	7(3.5%)
60代	12(6.6%)	141(77.5%)	23(12.6%)	6(3.3%)
18歳未満子有男性	13(11.4%)	80(70.2%)	20(17.5%)	1(0.9%)
18歳未満子有女性	6(3.4%)	118(67.1%)	46(26.1%)	6(3.4%)

で「1.」または「2.」と回答した方のみお答えください。実際に、どういう場面ですか。あてはまるものすべてを選んでください。

体罰を必要とする場合は、「他人に迷惑をかけたとき」が82%と最も高い。

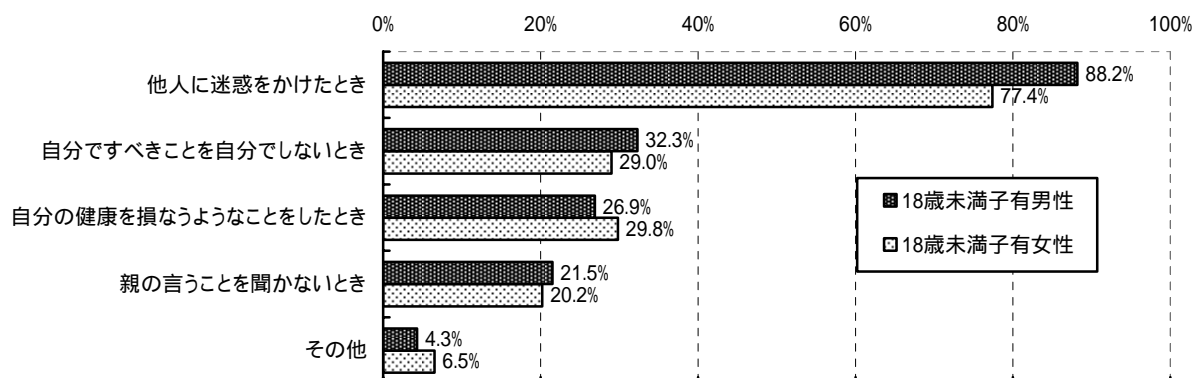
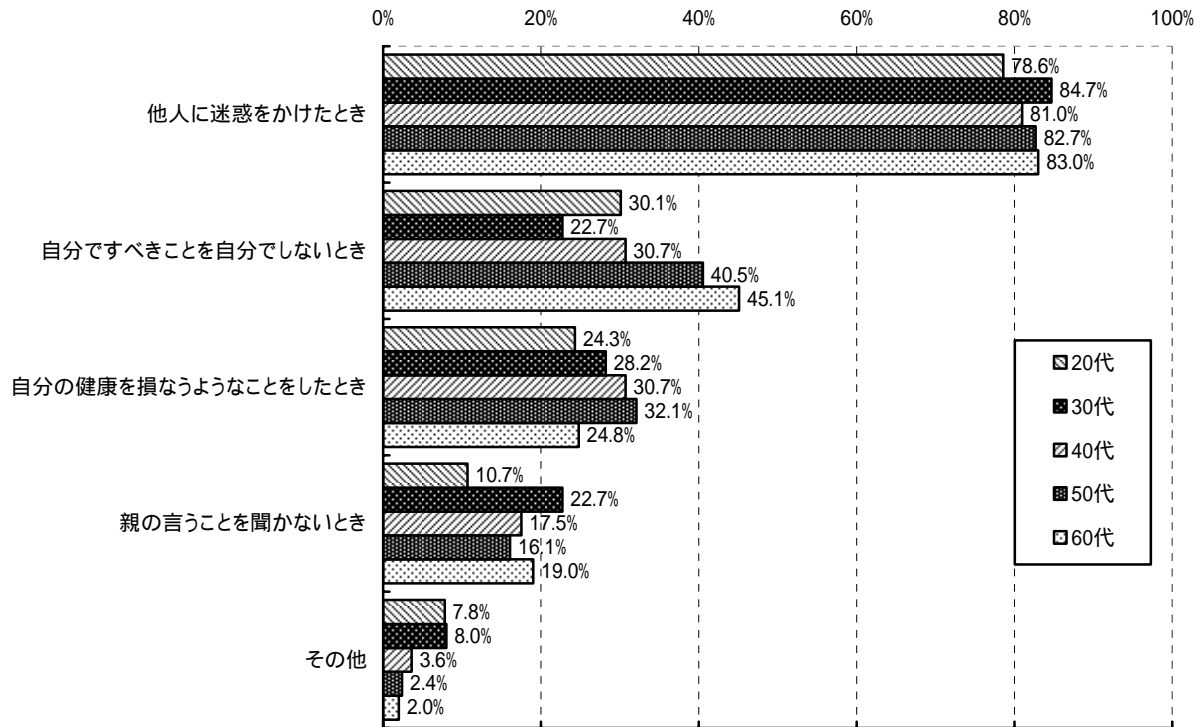
男女別に見てみると女性は男性に比べて「自分の健康を損なうようなことをしたとき」とする人が7ポイント高くなっている。



データ値（ で「1.」「2.」と答えた人からみた割合）

	他人に迷惑をかけたとき	自分ですべきことを自分でしないとき	自分の健康を損なうようなことをしたとき	親の言うことを聞かないとき	その他
全 体	597(82.3%)	248(34.2%)	206(28.4%)	128(17.7%)	33(4.6%)
男 性	281(84.4%)	123(36.9%)	84(25.2%)	61(18.3%)	15(4.5%)
女 性	311(80.8%)	123(31.9%)	122(31.7%)	67(17.4%)	17(4.4%)

年代別で見ると「自分ですべきことを自分でしないとき」が50代・60代で40%を超え、他の年代より10ポイント以上高くなっている。

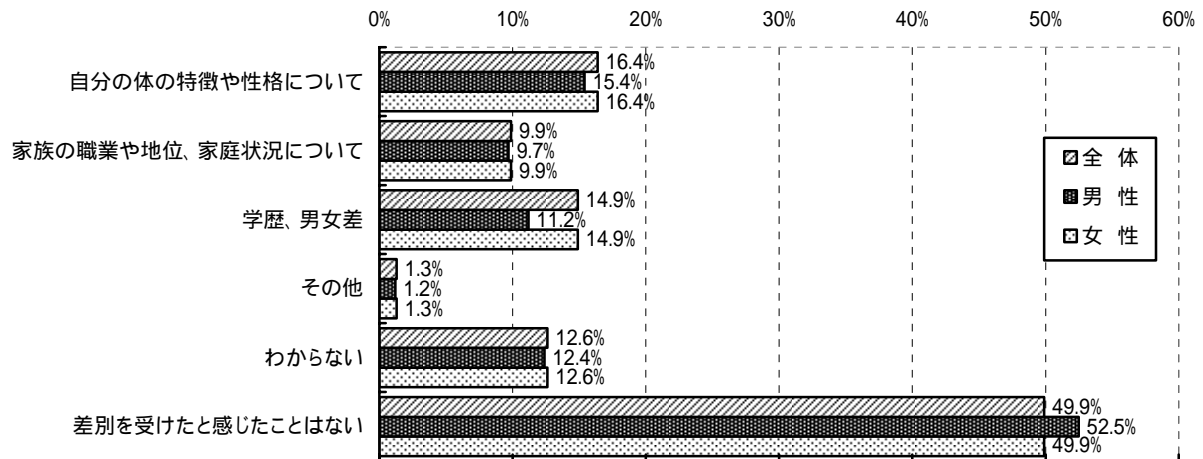


データ値（ で「1.」「2.」と答えた人からみた割合）

	他人に迷惑をかけたとき	自分ですべきことを自分でしないとき	自分の健康を損なうようなことをしたとき	親の言うことを聞かないとき	その他
20 代	81(78.6%)	31(30.1%)	25(24.3%)	11(10.7%)	8(7.8%)
30 代	138(84.7%)	37(22.7%)	46(28.2%)	37(22.7%)	13(8.0%)
40 代	111(81.0%)	42(30.7%)	42(30.7%)	24(17.5%)	5(3.6%)
50 代	139(82.7%)	68(40.5%)	54(32.1%)	27(16.1%)	4(2.4%)
60 代	127(83.0%)	69(45.1%)	38(24.8%)	29(19.0%)	3(2.0%)
18 歳未満子有男性	82(88.2%)	30(32.3%)	25(26.9%)	20(21.5%)	4(4.3%)
18 歳未満子有女性	96(77.4%)	36(29.0%)	37(29.8%)	25(20.2%)	8(6.5%)

問 9 . あなたが、次のようなことがらで、差別を受けたことはありますか。あてはまるものすべてを選んでください。

回答者自身の体験を聞いた質問であるが、「差別を受けたと感じたことはない」という人は50%であった。同種の質問を小・中学生にも実施したが、「いじめ、差別を受けたことがない」という児童・生徒は58%であった。

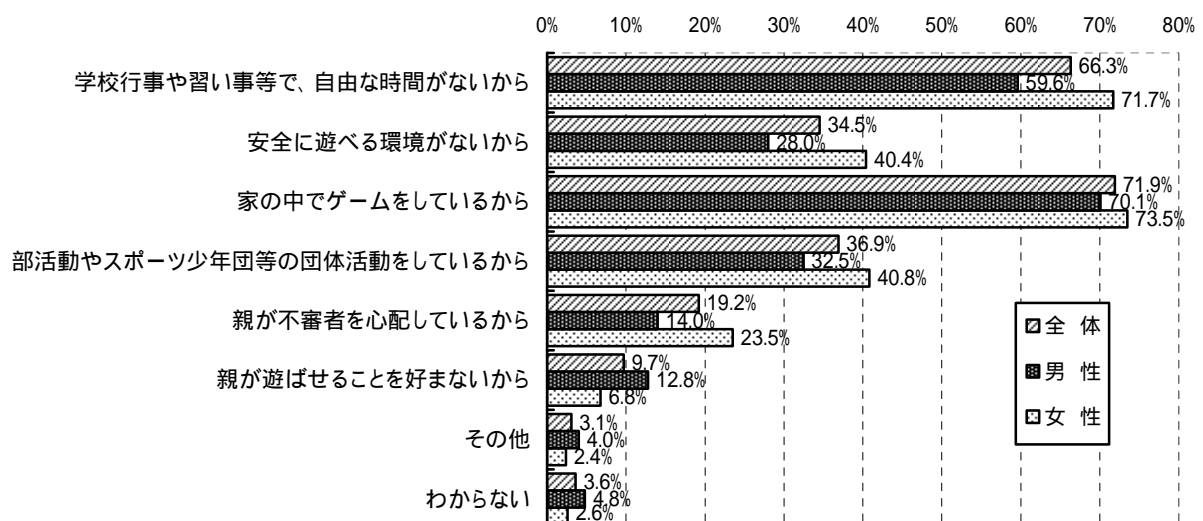


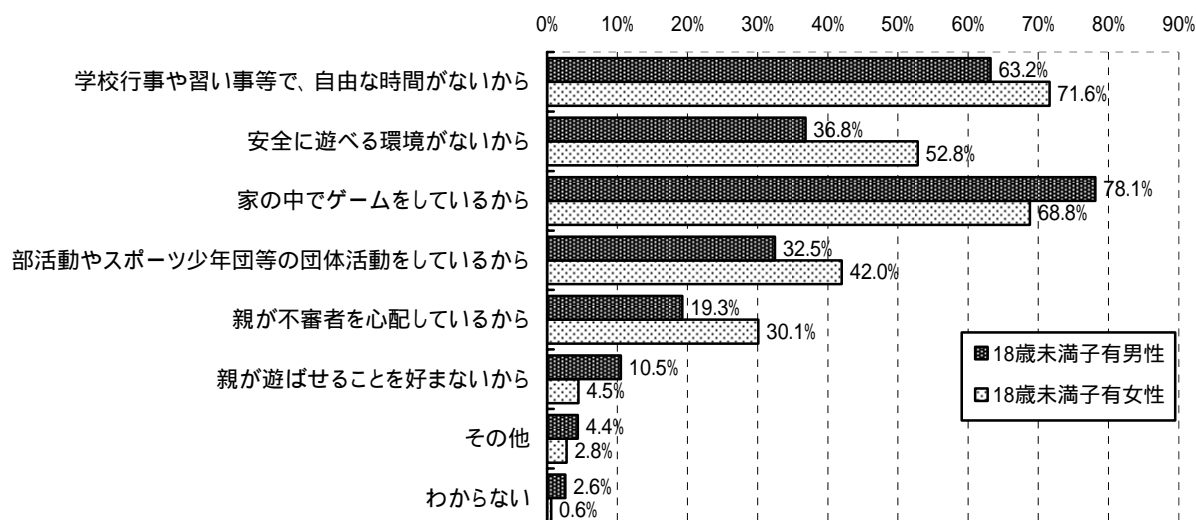
データ値

	自分の体の特徴や性格について	家族の職業や地位、家庭状況について	学歴、男女差	その他	わからない	差別を受けたと感じたことはない
全 体	152(16.4%)	92(9.9%)	138(14.9%)	12(1.3%)	117(12.6%)	463(49.9%)
男 性	65(15.4%)	41(9.7%)	47(11.2%)	5(1.2%)	52(12.4%)	221(52.5%)
女 性	87(17.5%)	49(9.8%)	89(17.9%)	7(1.4%)	65(13.1%)	239(48.0%)

問 10 . 子どもが地域で自由に遊んでいる姿を見ることが少なくなりましたが、その理由は少子化のほかに何が考えられますか。あてはまるものすべてを選んでください。

「家の中でゲームをしているから」が72%、「学校行事や習い事等で、自由な時間がないから」が66%と高くなっている。男女別を見ると女性が男性に比べて「安全に遊べる環境がないから」で12ポイント、「親が不審者を心配しているから」で10ポイント多くなっている。この2項目については、18歳未満の子どもがいる回答者の女性でそれぞれ53%、30%と高い割合となっている。





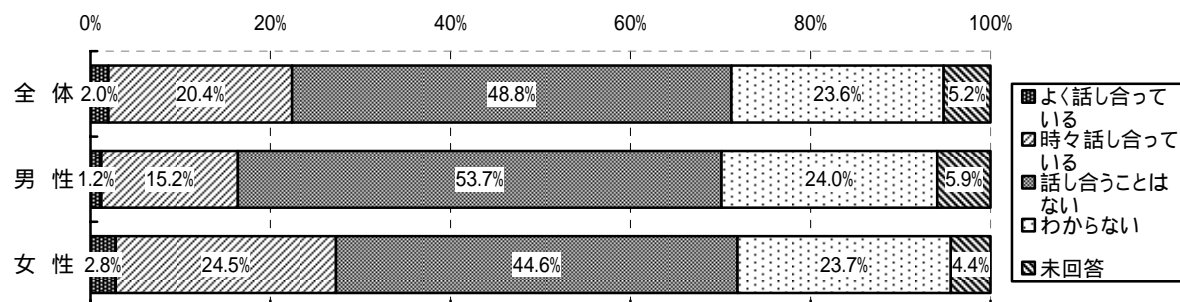
データ値

	学校行事や習い事等で、自由な時間がないから	安全に遊べる環境がないから	家の中でゲームをしているから	部活動やスポーツ少年団等の団体活動をしているから	親が不審者を心配しているから	親が遊ばせることを好まないから	その他	わからない
全 体	615(66.3%)	320(34.5%)	667(71.9%)	342(36.9%)	178(19.2%)	90(9.7%)	29(3.1%)	33(3.6%)
男 性	251(59.6%)	118(28.0%)	295(70.1%)	137(32.5%)	59(14.0%)	54(12.8%)	17(4.0%)	20(4.8%)
女 性	357(71.7%)	201(40.4%)	366(73.5%)	203(40.8%)	117(23.5%)	34(6.8%)	12(2.4%)	13(2.6%)
20 代	74(48.1%)	57(37.0%)	116(75.3%)	27(17.5%)	33(21.4%)	14(9.1%)	8(5.2%)	9(5.8%)
30 代	127(61.7%)	90(43.7%)	156(75.7%)	52(25.2%)	55(26.7%)	22(10.7%)	5(2.4%)	9(4.4%)
40 代	136(72.7%)	64(34.2%)	138(73.8%)	91(48.7%)	30(16.0%)	15(8.0%)	7(3.7%)	2(1.1%)
50 代	144(72.7%)	57(28.8%)	140(70.7%)	94(47.5%)	31(15.7%)	21(10.6%)	7(3.5%)	6(3.0%)
60 代	133(73.1%)	52(28.6%)	116(63.7%)	78(42.9%)	29(15.9%)	18(9.9%)	2(1.1%)	7(3.8%)
18歳未満子有男性	72(63.2%)	42(36.8%)	89(78.1%)	37(32.5%)	22(19.3%)	12(10.5%)	5(4.4%)	3(2.6%)
18歳未満子有女性	126(71.6%)	93(52.8%)	121(68.8%)	74(42.0%)	53(30.1%)	8(4.5%)	5(2.8%)	1(0.6%)

**問 11 . 地域における子どもの問題についての取り組みについてお聞きします。
あなたは地域における大人の会合等で、子どもの問題について話し合っていますか。**

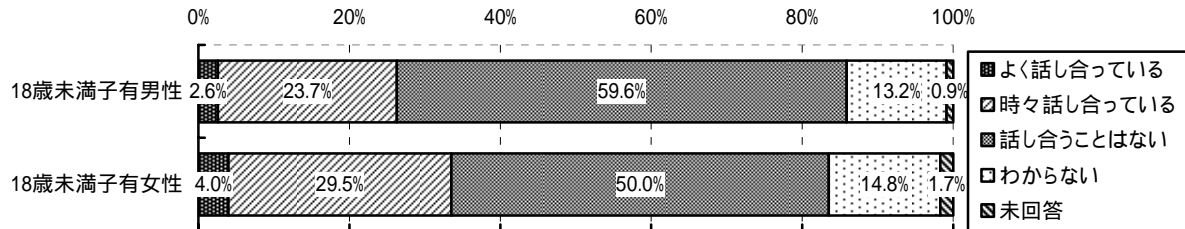
「よく話し合っている」「ときどき話し合っている」を合わせても22%に過ぎない。男女別で見ると、女性のほうが男性に比べて「話し合う」の回答が11ポイント高くなっている。

18歳未満の子どものいる世帯でも女性のほうが男性に比べて「話し合う」の回答が7ポイント高くなっている。



データ値

	よく話し合っている	時々話し合っている	話し合うことはない	わからない	未回答
全 体	19(2.0%)	189(20.4%)	453(48.8%)	219(23.6%)	48(5.2%)
男 性	5(1.2%)	64(15.2%)	226(53.7%)	101(24.0%)	25(5.9%)
女 性	14(2.8%)	122(24.5%)	222(44.6%)	118(23.7%)	22(4.4%)
18歳未満子有男性	3(2.6%)	27(23.7%)	68(59.6%)	15(13.2%)	1(0.9%)
18歳未満子有女性	7(4.0%)	52(29.5%)	88(50.0%)	26(14.8%)	3(1.7%)



データ値

	よく話し合っている	時々話し合っている	話し合うことはない	わからない	未回答
大町地区	2(1.8%)	22(19.8%)	56(50.5%)	23(20.7%)	8(7.2%)
村木地区	1(1.2%)	15(17.6%)	38(44.7%)	22(25.9%)	9(10.6%)
下中島地区	2(3.3%)	8(13.1%)	32(52.5%)	18(29.5%)	1(1.6%)
上中島地区	1(2.4%)	10(24.4%)	20(48.8%)	7(17.1%)	3(7.3%)
松倉地区	1(3.4%)	8(27.6%)	11(38.0%)	8(27.6%)	1(3.4%)
上野方地区	1(2.0%)	15(30.6%)	17(34.7%)	16(32.7%)	0(0.0%)
本江地区	3(2.3%)	30(23.3%)	60(46.5%)	28(21.7%)	8(6.2%)
片貝地区	1(3.7%)	2(7.4%)	15(55.6%)	8(29.6%)	1(3.7%)
加積地区	2(2.0%)	18(17.6%)	56(54.9%)	21(20.6%)	5(4.9%)
天神地区	0(0.0%)	8(17.0%)	29(61.8%)	9(19.1%)	1(2.1%)
道下地区	1(1.1%)	19(20.2%)	50(53.2%)	22(23.4%)	2(2.1%)
経田地区	1(0.9%)	24(20.7%)	56(48.2%)	30(25.9%)	5(4.3%)
西布施地区	3(8.6%)	10(28.6%)	13(37.1%)	7(20.0%)	2(5.7%)

で「1 .」または「2 .」と回答した方のみにお聞きします。どんなことが話し合われますか。あてはまるものすべてを選んでください

「運動会や祭礼等行事への参加呼びかけ」が48%で最も高く、続いて「子どもを交えた行事の開催について」(42%)、「児童クラブや母親クラブ、PTAの活動内容について」(34%)となっている。

男女別に見てみると女性が男性に比べて「子育てのあり方について」が16ポイント高くなっている。

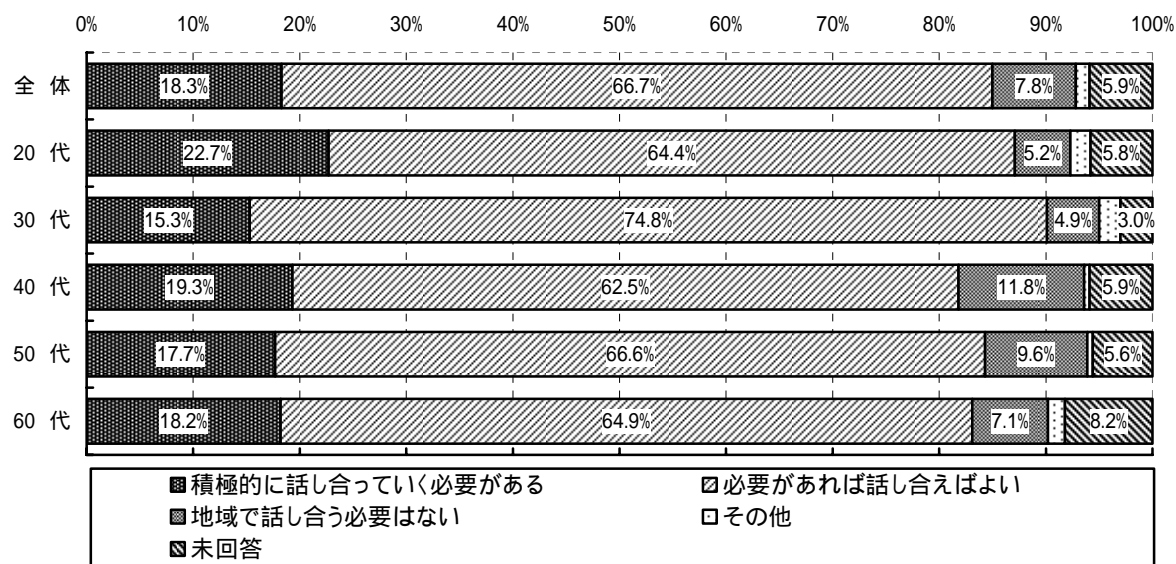
データ値 (で「1 .」または「2 .」と回答した人からみた割合)

	全 体	男 性	女 性
運動会や祭礼等行事への参加呼びかけ	100(48.1%)	36(52.2%)	63(46.3%)
子どもの遊び場所について	30(14.4%)	13(18.8%)	17(12.5%)
児童クラブや母親クラブ、PTAの活動内容について	70(33.7%)	21(30.4%)	48(35.3%)
子育てのあり方について	64(30.8%)	14(20.6%)	50(36.8%)
子どもを交えた行事の開催について	88(42.3%)	32(46.4%)	54(39.7%)
不登校の子どもへの援助について	9(4.3%)	2(2.9%)	7(5.1%)
青少年健全育成に関する環境浄化について	16(7.7%)	6(8.7%)	10(7.4%)
その他	1(0.5%)	0(0.0%)	1(0.7%)

問 12 . あなたは、子どもの問題について今後、地域で話し合っていく必要があると思いますか。

「積極的に話し合っていく必要がある」が 18%、「必要があれば話し合えばよい」が 67%で、「話し合う必要はない」は 8%と少ない。

年代別で見ると「積極的に」「必要があれば」の回答を合わせると 30 代が 90% 超え最も高く、続いて 20 代（87%）で 40 代が 82%と最も低くなっている。

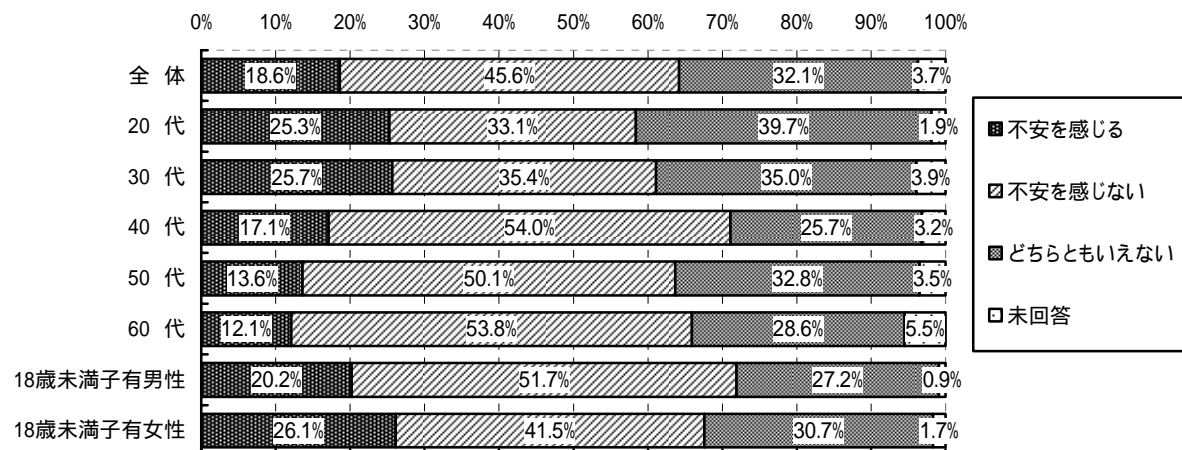


データ値

	積極的に話し合っていく必要がある	必要があれば話し合えばよい	子どもの問題は家庭で話し合うべきで、地域で話し合う必要はない	その他	未回答
全 体	170(18.3%)	619(66.7%)	72(7.8%)	12(1.3%)	55(5.9%)
男 性	72(17.1%)	275(65.3%)	40(9.5%)	5(1.2%)	29(6.9%)
女 性	97(19.5%)	337(67.7%)	32(6.4%)	7(1.4%)	25(5.0%)
20 代	35(22.7%)	99(64.4%)	8(5.2%)	3(1.9%)	9(5.8%)
30 代	31(15.3%)	152(74.8%)	10(4.9%)	4(2.0%)	6(3.0%)
40 代	36(19.3%)	117(62.5%)	22(11.8%)	1(0.5%)	11(5.9%)
50 代	35(17.7%)	132(66.6%)	19(9.6%)	1(0.5%)	11(5.6%)
60 代	33(18.2%)	118(64.9%)	13(7.1%)	3(1.6%)	15(8.2%)
18 歳未満子有男性	18(15.8%)	81(71.0%)	10(8.8%)	1(0.9%)	4(3.5%)
18 歳未満子有女性	34(19.3%)	123(69.9%)	11(6.3%)	2(1.1%)	6(3.4%)

問 13 . あなたの子どもを学校へ通わせることについてお聞きします。子どもをもたない方も想定してお答えください。
あなたは、子どもを学校に通わせることに不安を感じますか。

「不安を感じる」と回答した人は 19%、「不安を感じない」と回答した人は 46%となっている。年代別に見ると 20 代・30 代で「不安を感じる」と回答した人が 25%を超え、年代が高くなるにつれて「不安を感じる」割合が低くなっている。18 歳未満の子どもがいる世帯を見ると女性が男性に比べて 6 ポイント「不安を感じる」と回答した割合が高い。



データ値

	不安を感じる	不安を感じない	どちらともいえない	未回答
全 体	173(18.6%)	423(45.6%)	298(32.1%)	34(3.7%)
男 性	81(19.2%)	191(45.4%)	128(30.4%)	21(5.0%)
女 性	92(18.5%)	229(46.0%)	166(33.3%)	11(2.2%)
20 代	39(25.3%)	51(33.1%)	61(39.7%)	3(1.9%)
30 代	53(25.7%)	73(35.4%)	72(35.0%)	8(3.9%)
40 代	32(17.1%)	101(54.0%)	48(25.7%)	6(3.2%)
50 代	27(13.6%)	99(50.1%)	65(32.8%)	7(3.5%)
60 代	22(12.1%)	98(53.8%)	52(28.6%)	10(5.5%)
18 歳未満子有男性	23(20.2%)	59(51.7%)	31(27.2%)	1(0.9%)
18 歳未満子有女性	46(26.1%)	73(41.5%)	54(30.7%)	3(1.7%)

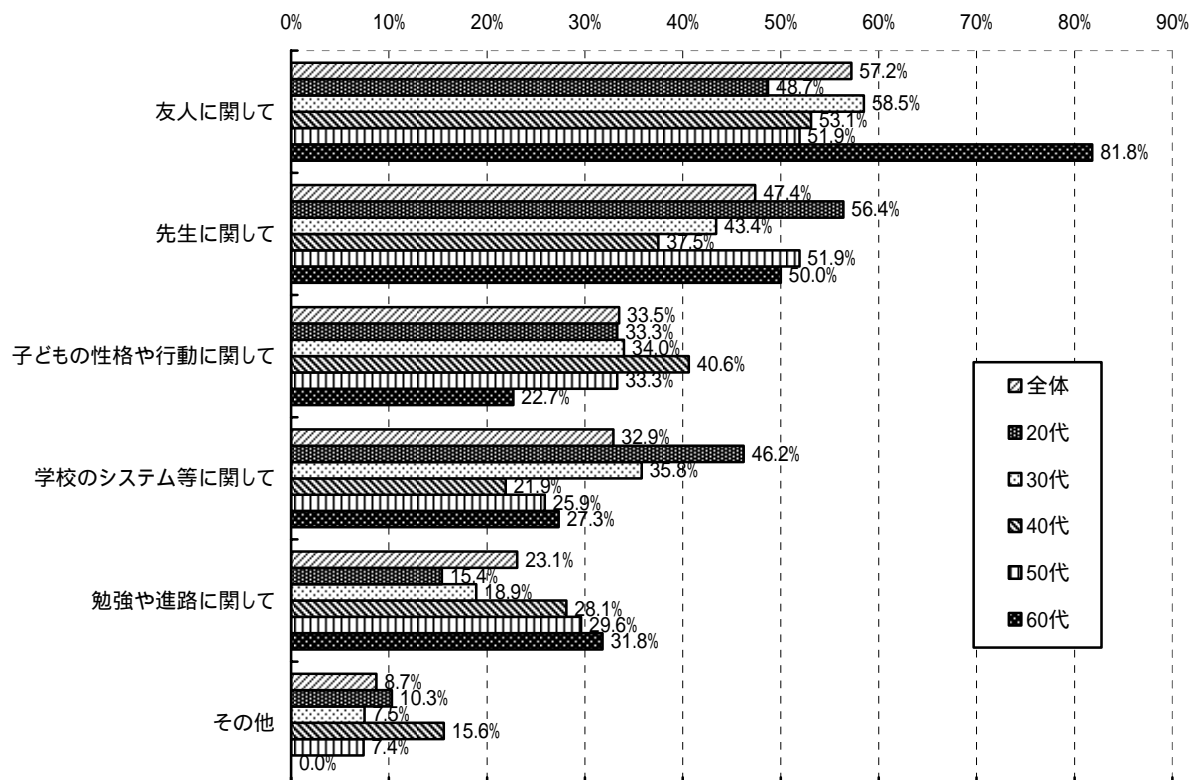
で「1 .」と回答した方にのみお聞きします。それはどんな不安ですか。あてはまるものすべてを選んでください。

子どもを学校に通わせることの不安については、「友人に関して」(57%)、「先生に関して」(47%)、「子どもの性格や行動に関して」(33%)、「学校のシステム等に関して」(33%)の順となっている。

「不安を感じる」と回答した人が 25%を超えた 20 代・30 代を見てみると 20 代では「先生に関する不安」が最も高く 56%となっている。また、「学校のシステム等に関しての不安」も 46%と他の年代と比べて最も高くなっている。30 代は「友人に関する不安」が他の年代と比べて最も高くなっている。

データ値 (で「1 .」と回答した人からみた割合)

	友人に関して	先生に関して	子どもの性格や行動に関して	学校のシステム等に関して	勉強や進路に関して	その他
全 体	99(57.2%)	82(47.4%)	58(33.5%)	57(32.9%)	40(23.1%)	15(8.7%)
男 性	47(58.0%)	44(54.3%)	30(37.0%)	31(38.3%)	21(25.9%)	5(6.2%)
女 性	52(56.5%)	38(41.3%)	28(30.4%)	26(28.3%)	19(20.7%)	10(10.9%)



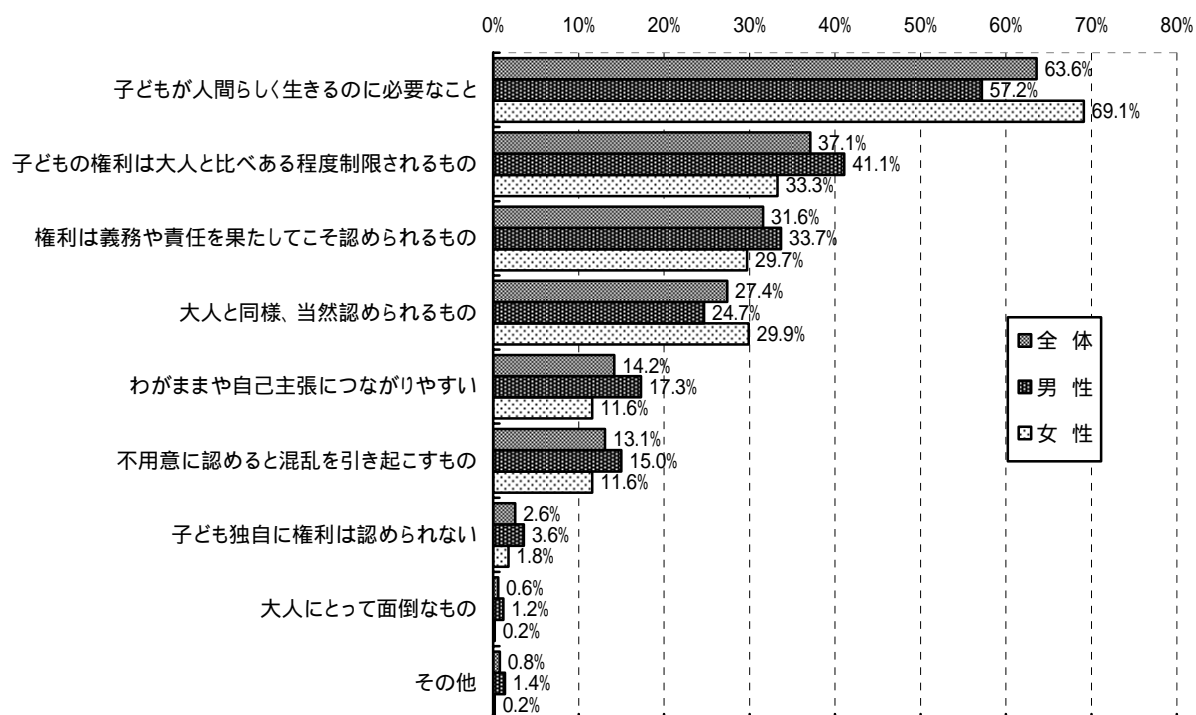
データ値（ で「1」 と回答した人からみた割合）

	友人に関して	先生に関して	子どもの性格や行動に関して	学校のシステム等に関して	勉強や進路に関して	その他
20代	19(48.7%)	22(56.4%)	13(33.3%)	18(46.2%)	6(15.4%)	4(10.3%)
30代	31(58.5%)	23(43.4%)	18(34.0%)	19(35.8%)	10(18.9%)	4(7.5%)
40代	17(53.1%)	12(37.5%)	13(40.6%)	7(21.9%)	9(28.1%)	5(15.6%)
50代	14(51.9%)	14(51.9%)	9(33.3%)	7(25.9%)	8(29.6%)	2(7.4%)
60代	18(81.8%)	11(50.0%)	5(22.7%)	6(27.3%)	7(31.8%)	0(0.0%)
18歳未満子有男性	14(60.9%)	10(43.5%)	10(43.5%)	6(26.1%)	6(26.1%)	2(8.7%)
18歳未満子有女性	27(58.7%)	15(32.6%)	14(30.4%)	11(23.9%)	12(26.1%)	8(17.4%)

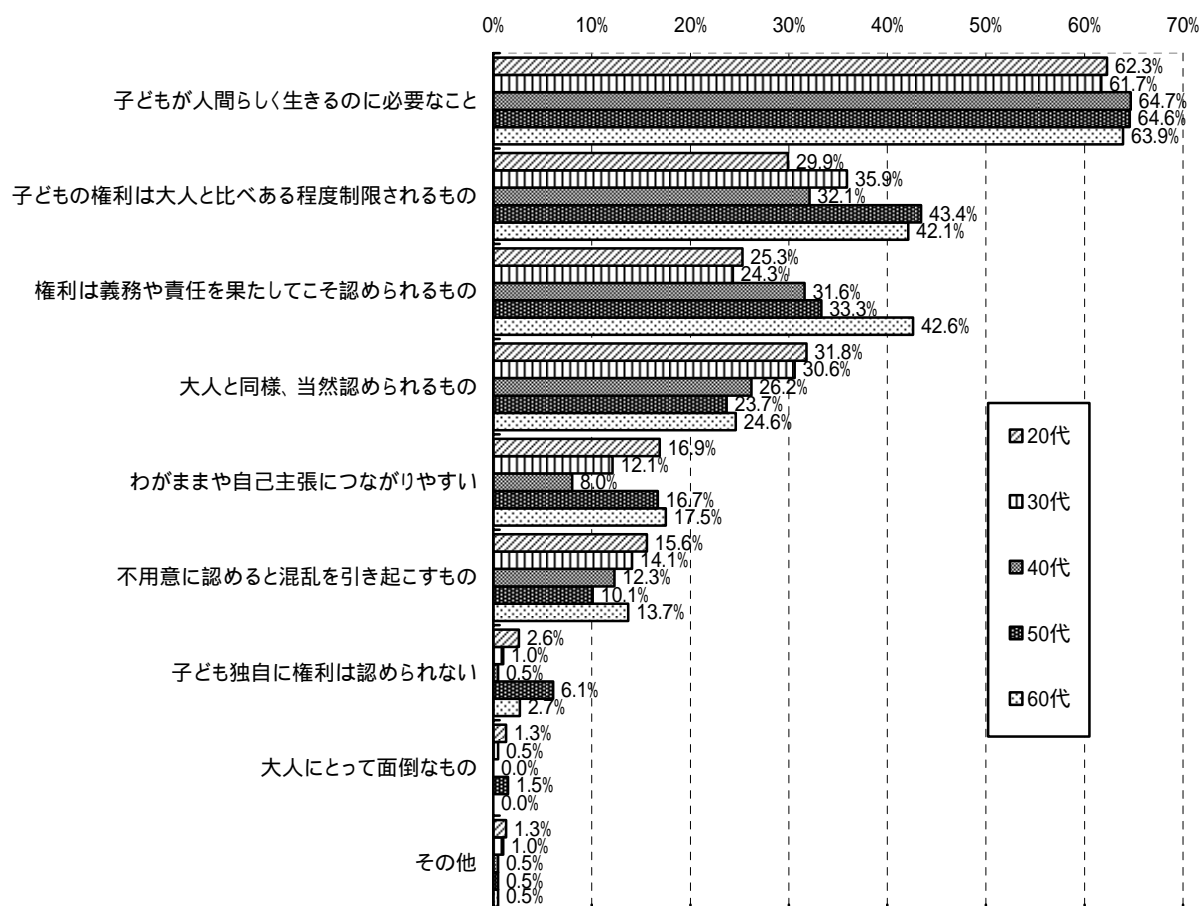
**問 14.「子どもの権利」に対する考えと聞いて、あなたはどんなイメージをもたれますか。
近いと思うものすべてを選んでください。**

「子どもが人間らしく生きるのに必要なこと」が64%で最も高く、女性が男性に比べ12ポイント高くなっている。ついで「子どもの権利は大人と比べある程度制限されるもの」(37%)、「権利は義務や責任を果たしてこそ認められるもの」(32%)、「大人と同様、当然認められるもの」(27%)の順となっている。

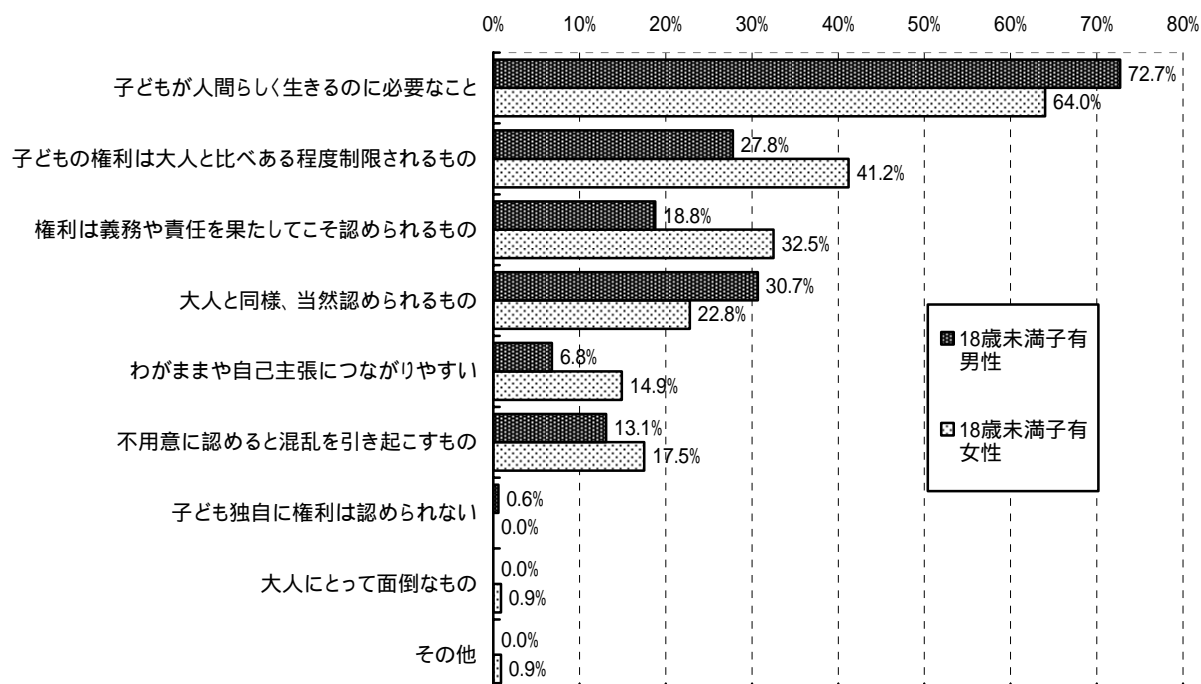
	子どもが人間らしく生きるのに必要なこと	子どもの権利は大人と比べある程度制限されるもの	権利は義務や責任を果たしてこそ認められるもの	大人と同様、当然認められるもの	わがままや自己主張につながりやすいもの	不用意に認めると混乱を引き起こすもの	子ども独自に権利は認められない	大人にとって面倒なもの	その他
全体	590 (63.6%)	344 (37.1%)	293 (31.6%)	254 (27.4%)	132 (14.2%)	122 (13.1%)	24 (2.6%)	6 (0.6%)	7 (0.8%)
男性	241 (57.2%)	173 (41.1%)	142 (33.7%)	104 (24.7%)	73 (17.3%)	63 (15.0%)	15 (3.6%)	5 (1.2%)	6 (1.4%)
女性	344 (69.1%)	166 (33.3%)	148 (29.7%)	149 (29.9%)	58 (11.6%)	58 (11.6%)	9 (1.8%)	1 (0.2%)	1 (0.2%)



年代別で見ると概ね年代が高くなるにつれて「権利は義務や責任を果たしてこそ認められるもの」の割合が増えていき、逆に「大人と同様、当然認められるもの」の割合が減ってきている。



18歳未満の子どものいる世帯の男女差は顕著に表れており、女性が男性に比べて「子どもが人間らしく生きるのに必要なこと」で9ポイント、「大人と同様、当然認められるもの」8ポイント高く、逆に「権利は義務や責任を果たしてこそ認められるもの」で14ポイント、「子どもの権利は大人と比べある程度制限されるもの」で13ポイント、「わがままや自己主張につながりやすい」で8ポイント低くなっている。



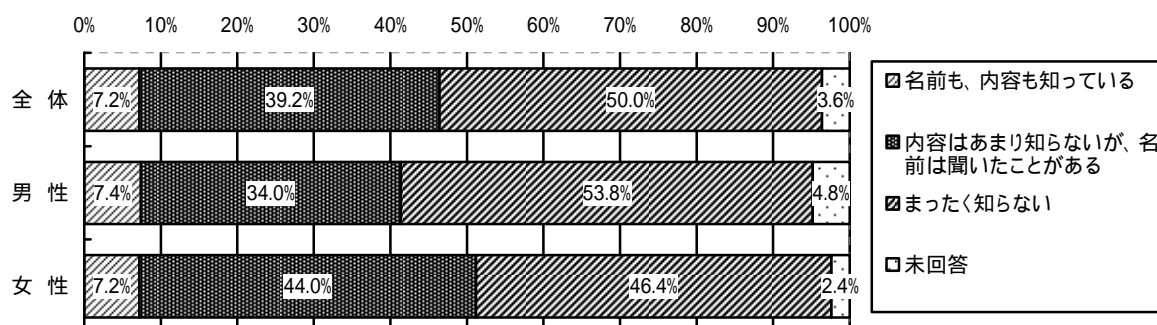
データ値

	子どもが人間らしく生きるのに必要なこと	子どもの権利は大人と比べある程度制限されるもの	権利は義務や責任を果たしてこそ認められるもの	大人と同様、当然認められるもの	わがままや自己主張につながりやすいもの	不用意に認めると混乱を引き起こすもの	子ども独自に権利は認められない	大人にとって面倒なもの	その他
20代	96 (62.3%)	46 (29.9%)	39 (25.3%)	49 (31.8%)	26 (16.9%)	24 (15.6%)	4 (2.6%)	2 (1.3%)	2 (1.3%)
30代	127 (61.7%)	74 (35.9%)	50 (24.3%)	63 (30.6%)	25 (12.1%)	29 (14.1%)	2 (1.0%)	1 (0.5%)	2 (1.0%)
40代	121 (64.7%)	60 (32.1%)	59 (31.6%)	49 (26.2%)	15 (8.0%)	23 (12.3%)	1 (0.5%)	0 (0.0%)	1 (0.5%)
50代	128 (64.6%)	86 (43.4%)	66 (33.3%)	47 (23.7%)	33 (16.7%)	20 (10.1%)	12 (6.1%)	3 (1.5%)	1 (0.5%)
60代	117 (63.9%)	77 (42.1%)	78 (42.6%)	45 (24.6%)	32 (17.5%)	25 (13.7%)	5 (2.7%)	0 (0.0%)	1 (0.5%)
18歳未満子有男性	73 (64.0%)	47 (41.2%)	37 (32.5%)	26 (22.8%)	17 (14.9%)	20 (17.5%)	0 (0.0%)	1 (0.9%)	1 (0.9%)
18歳未満子有女性	128 (72.7%)	49 (27.8%)	33 (18.8%)	54 (30.7%)	12 (6.8%)	23 (13.1%)	1 (0.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

問 15 . あなたは「子どもの権利条約」をご存知ですか。

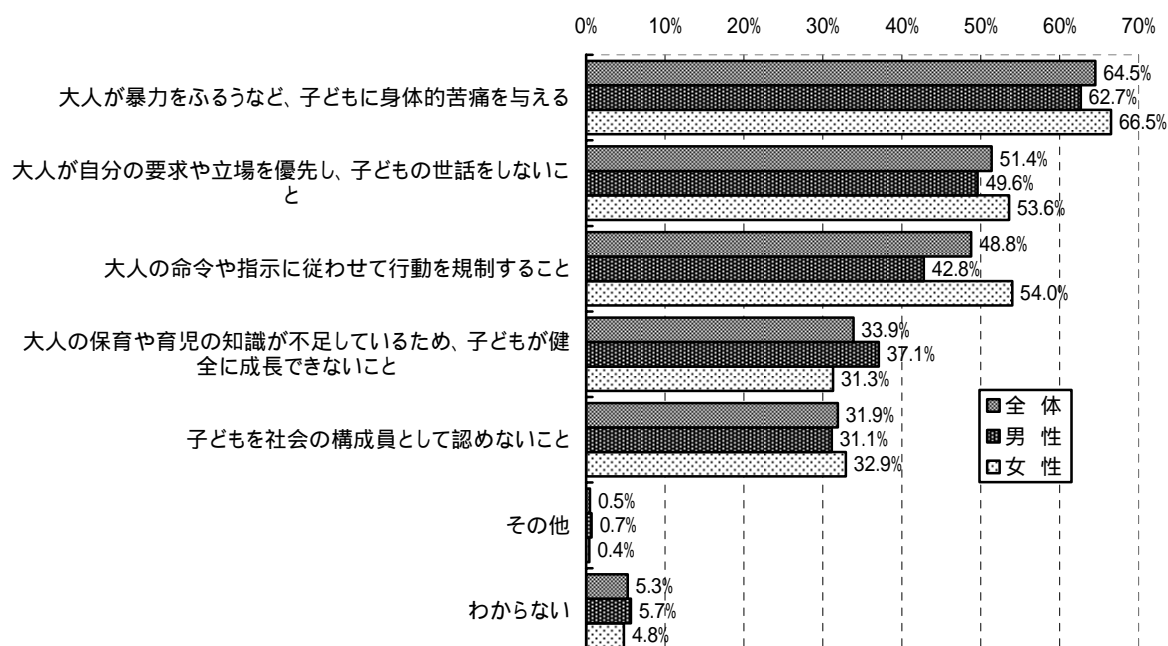
「子どもの権利条約」については、名前は聞いたことがあるという人を含めて 46% が聞いたことがあると回答している。女性は男性に比べて聞いたことがあると回答した人が 10 ポイント高くなっている。

	名前も、内容も知っている	内容はあまり知らないが、名前は聞いたことがある	まったく知らない	未回答
全 体	67(7.2%)	364(39.2%)	464(50.0%)	33(3.6%)
男 性	31(7.4%)	143(34.0%)	227(53.8%)	20(4.8%)
女 性	36(7.2%)	219(44.0%)	231(46.4%)	12(2.4%)



問 16 . 大人が「子どもの権利を侵害する」とは、どのようなことだと思いますか。 あてはまるものすべてを選んでください。

「大人が暴力をふるうなど、子どもに身体的苦痛を与える」(児童虐待) が 65%、「大人が自分の要求や立場を優先し、子どもの世話をしないこと」(最低限の生活をさせない) が 51%、「大人の命令や指示に従わせて行動を規制すること」(自立性無視) が 49% となっている。女性は男性に比べて「大人の命令や指示に従わせて行動を規制すること」(自立性無視) で 11 ポイント高い割合を示している。



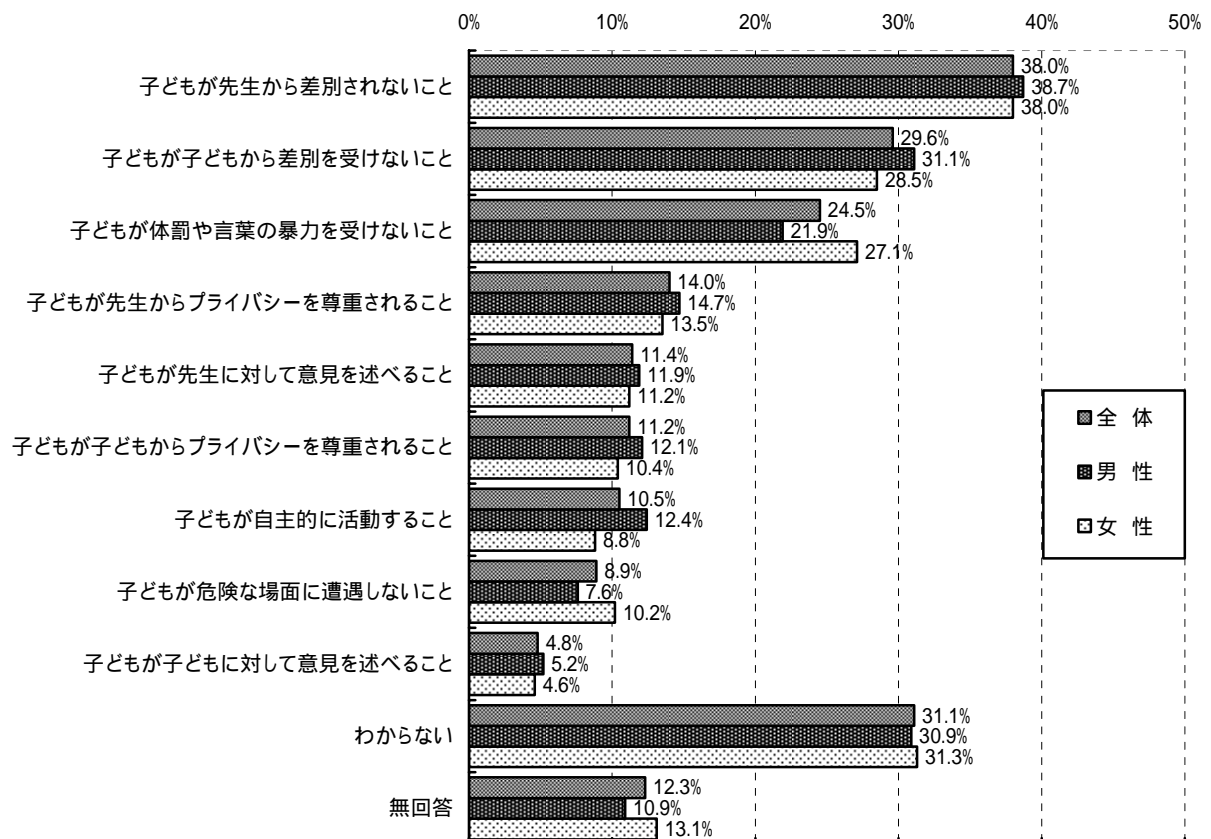
データ値

	大人が暴力をふるうなど、子どもに身体的苦痛を与える	大人が自分の要求や立場を優先し、子どもの世話をしないこと	大人の命令や指示に従わせて行動を規制すること	大人の保育や育児の知識が不足しているため、子どもが健全に成長できないこと	子どもを社会の構成員として認めないこと	その他	わからない
全 体	599(64.5%)	477(51.4%)	453(48.8%)	315(33.9%)	296(31.9%)	5(0.5%)	49(5.3%)
男 性	264(62.7%)	209(49.6%)	180(42.8%)	156(37.1%)	131(31.1%)	3(0.7%)	24(5.7%)
女 性	331(66.5%)	267(53.6%)	269(54.0%)	156(31.3%)	164(32.9%)	2(0.4%)	24(4.8%)

問 17. あなたは、学校の中で、次のような子どもの権利が侵害されていると思いますか。侵害されていると思うものすべてを選んでください。

学校での権利侵害を特に感じない人は、「わからない」「無回答」とする場合が多いと思われる。全体で「わからない」「無回答」を合わせると43%になっている。

「子どもが先生から差別されないこと」(38%)、「子どもが子どもから差別されないこと」(30%)の『差別に関すること』の割合が高くなっており、続いて「子どもが体罰や言葉の暴力を受けないこと」(25%)となっている。



データ値

	全 体	男 性	女 性	18 歳未満 子有男性	18 歳未満 子有女性
子どもが先生から差別されないこと	353(38.0%)	163(38.7%)	189(38.0%)	43(37.7%)	67(38.1%)
子どもが子どもから差別されないこと	275(29.6%)	131(31.1%)	142(28.5%)	35(30.7%)	44(25.0%)
子どもが体罰や言葉の暴力を受けないこと	227(24.5%)	92(21.9%)	135(27.1%)	21(18.4%)	44(25.0%)
子どもが先生からプライバシーを尊重されること	130(14.0%)	62(14.7%)	67(13.5%)	18(15.8%)	18(10.2%)
子どもが先生に対して意見を述べること	106(11.4%)	50(11.9%)	56(11.2%)	13(11.4%)	20(11.4%)
子どもが子どもからプライバシーを尊重されること	104(11.2%)	51(12.1%)	52(10.4%)	15(13.2%)	14(8.0%)
子どもが自主的に活動すること	97(10.5%)	52(12.4%)	44(8.8%)	15(13.2%)	15(8.5%)
子どもが危険な場面に遭遇しないこと	83(8.9%)	32(7.6%)	51(10.2%)	8(7.0%)	13(7.4%)
子どもが子どもに対して意見を述べること	45(4.8%)	22(5.2%)	23(4.6%)	4(3.5%)	10(5.7%)
わからない	289(31.1%)	130(30.9%)	156(31.3%)	33(28.9%)	64(36.4%)
無回答	114(12.3%)	46(10.9%)	65(13.1%)	8(7.0%)	10(8.8%)

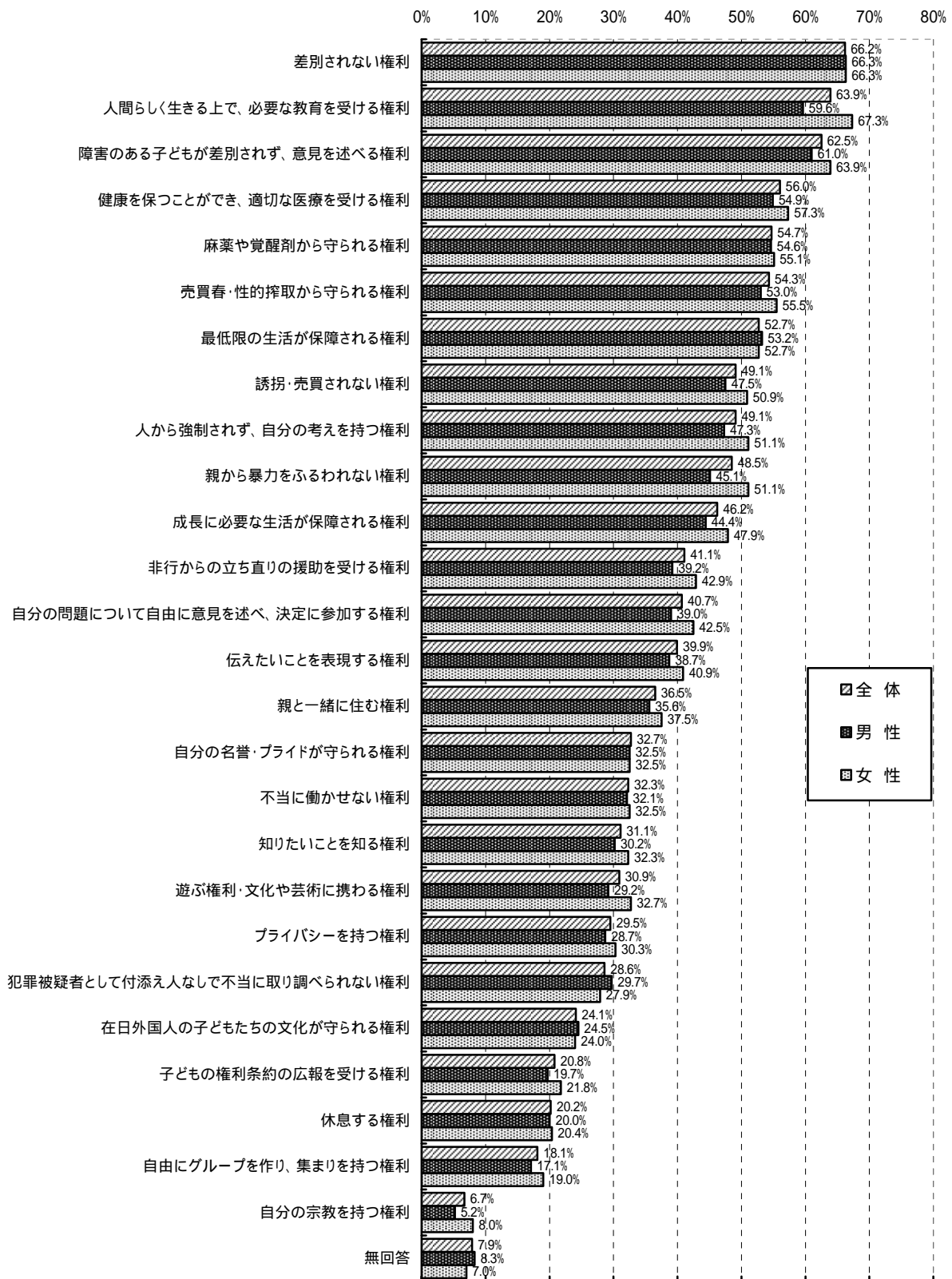
問 18.「子どもの権利条約」は、次のような権利を保障しています。中でも魚津市の子どもたちにとって特に重要と思われる権利をすべて選び、該当欄に をつけてください。

「差別されない権利」が 66%で最も高く、つぎに「人間らしく生きる上で、必要な教育を受ける権利」(64%)、「障害のある子どもが差別されず、意見を述べる権利」(63%)で、この 3 つが 60%を超えている。

データ値

	全 体	男 性	女 性
差別されない権利	614(66.2%)	279(66.3%)	331(66.3%)
人間らしく生きる上で、必要な教育を受ける権利	593(63.9%)	251(59.6%)	336(67.3%)
障害のある子どもが差別されず、意見を述べる権利	580(62.5%)	257(61.0%)	319(63.9%)
健康を保つことができ、適切な医療を受ける権利	520(56.0%)	231(54.9%)	286(57.3%)
麻薬や覚醒剤から守られる権利	508(54.7%)	230(54.6%)	275(55.1%)
売買春・性的搾取から守られる権利	504(54.3%)	223(53.0%)	277(55.5%)
最低限の生活が保障される権利	489(52.7%)	224(53.2%)	263(52.7%)
誘拐・売買されない権利	456(49.1%)	200(47.5%)	254(50.9%)
人から強制されず、自分の考えを持つ権利	456(49.1%)	199(47.3%)	255(51.1%)
親から暴力をふるわれない権利	450(48.5%)	190(45.1%)	255(51.1%)
成長に必要な生活が保障される権利	429(46.2%)	187(44.4%)	239(47.9%)
非行からの立ち直りの援助を受ける権利	381(41.1%)	165(39.2%)	214(42.9%)
自分の問題について自由に意見を述べ、決定に参加する権利	378(40.7%)	164(39.0%)	212(42.5%)
伝えたいことを表現する権利	370(39.9%)	163(38.7%)	204(40.9%)
親と一緒に住む権利	339(36.5%)	150(35.6%)	187(37.5%)
自分の名誉・プライドが守られる権利	303(32.7%)	137(32.5%)	162(32.5%)
不当に働かせない権利	300(32.3%)	135(32.1%)	162(32.5%)
知りたいことを知る権利	289(31.1%)	127(30.2%)	161(32.3%)
遊ぶ権利・文化や芸術に携わる権利	287(30.9%)	123(29.2%)	163(32.7%)
プライバシーを持つ権利	274(29.5%)	121(28.7%)	151(30.3%)
犯罪被疑者として付添え人なしで不当に取り調べられない権利	265(28.6%)	125(29.7%)	139(27.9%)
在日外国人の子どもたちの文化が守られる権利	224(24.1%)	103(24.5%)	120(24.0%)
子どもの権利条約の広報を受ける権利	193(20.8%)	83(19.7%)	109(21.8%)
休息する権利	187(20.2%)	84(20.0%)	102(20.4%)
自由にグループを作り、集まりを持つ権利	168(18.1%)	72(17.1%)	95(19.0%)
自分の宗教を持つ権利	62(6.7%)	22(5.2%)	40(8.0%)
無回答	73(7.9%)	35(8.3%)	35(7.0%)

男女別で見ると傾向に大差はないが、女性では「人間らしく生きる上で、必要な教育を受ける権利」が67%で最も高く、男性と比べても8ポイント高くなっている。



年代別に見てみると各年代で全体の上位3項目の「差別されない権利」「人間らしく生きる上で、必要な教育を受ける権利」「障害のある子どもが差別されず、意見を述べる権利」が高い回答割合となっている。

20代では「伝えたいことを表現する権利」が62%と他の年代に比べて高い回答割合となっている。30代では「健康を保つことができ、適切な医療を受ける権利」が64%で他の年代に比べて高い回答割合となっている。

データ値

	20代	30代	40代	50代	60代
差別されない権利	96(62.3%)	139(67.5%)	119(63.6%)	134(67.7%)	125(68.7%)
人間らしく生きる上で、必要な教育を受ける権利	84(54.5%)	131(63.6%)	122(65.2%)	133(67.2%)	122(67.0%)
障害のある子どもが差別されず、意見を述べる権利	95(61.7%)	128(62.1%)	111(59.4%)	123(62.1%)	123(67.6%)
健康を保つことができ、適切な医療を受ける権利	77(50.0%)	131(63.6%)	104(55.6%)	111(56.1%)	96(52.7%)
麻薬や覚醒剤から守られる権利	81(52.6%)	123(59.7%)	98(52.4%)	108(54.5%)	96(52.7%)
売買春・性的搾取から守られる権利	77(50.0%)	122(59.2%)	103(55.1%)	106(53.5%)	96(52.7%)
最低限の生活が保障される権利	84(54.5%)	109(52.9%)	95(50.8%)	106(53.5%)	94(51.6%)
誘拐・売買されない権利	77(50.0%)	116(56.3%)	86(46.0%)	91(46.0%)	86(47.3%)
人から強制されず、自分の考えを持つ権利	84(54.5%)	91(44.2%)	81(43.3%)	106(53.5%)	93(51.1%)
親から暴力をふるわれない権利	74(48.1%)	102(49.5%)	80(42.8%)	98(49.5%)	96(52.7%)
成長に必要な生活が保障される権利	75(48.7%)	96(46.6%)	86(46.0%)	92(46.5%)	80(44.0%)
非行からの立ち直りの援助を受ける権利	56(36.4%)	87(42.2%)	75(40.1%)	87(43.9%)	76(41.8%)
自分の問題について自由に意見を述べ、決定に参加する権利	63(40.9%)	71(34.5%)	69(36.9%)	96(48.5%)	78(42.9%)
伝えたいことを表現する権利	96(62.3%)	77(37.4%)	58(31.0%)	86(43.4%)	78(42.9%)
親と一緒に住む権利	48(31.2%)	70(34.0%)	55(29.4%)	83(41.9%)	83(45.6%)
自分の名誉・プライドが守られる権利	51(33.1%)	64(31.1%)	55(29.4%)	71(35.9%)	62(34.1%)
不当に働かせない権利	45(29.2%)	73(35.4%)	52(27.8%)	67(33.8%)	63(34.6%)
知りたいことを知る権利	49(31.8%)	68(33.0%)	49(26.2%)	64(32.3%)	58(31.9%)
遊ぶ権利・文化や芸術に携わる権利	58(37.7%)	67(32.5%)	52(27.8%)	59(29.8%)	51(28.0%)
プライバシーを持つ権利	51(33.1%)	62(30.1%)	50(26.7%)	64(32.3%)	47(25.8%)
犯罪被疑者として付添え人なしで不当に取り調べられない権利	42(27.3%)	62(30.1%)	51(27.3%)	56(28.3%)	54(29.7%)
在日外国人の子どもたちの文化が守られる権利	45(29.2%)	57(27.7%)	39(20.9%)	43(21.7%)	40(22.0%)
子どもの権利条約の広報を受ける権利	38(24.7%)	38(18.4%)	40(21.4%)	34(17.2%)	43(23.6%)
休息する権利	39(25.3%)	41(19.9%)	34(18.2%)	40(20.2%)	33(18.1%)
自由にグループを作り、集まりを持つ権利	29(18.8%)	30(14.6%)	31(16.6%)	33(16.7%)	44(24.2%)
自分の宗教を持つ権利	4(2.6%)	20(9.7%)	8(4.3%)	14(7.1%)	16(8.8%)
無回答	11(7.1%)	11(5.3%)	11(5.9%)	14(7.1%)	26(14.3%)

